

令和8年度 埼玉大学 特別選抜学生募集要項

総合型選抜

経済学部（昼間コース）・理学部・工学部

学校推薦型選抜

教養学部・教育学部・理学部・工学部

不測の事態が生じた場合における本学からの情報提供について

公共交通機関の乱れや自然災害の影響などにより、所定の試験日程や入学者選抜方法による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、試験日程や入学者選抜方法を変更した上で、入学者の選抜を行うことがあります。

変更が生じた場合は、埼玉大学ホームページにてお知らせします。

<https://www.saitama-u.ac.jp>

令和7年7月

目 次

1 募集人員及び入学者選抜の日程	1
2 学士課程の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
3 総合型選抜	11
経済学部（昼間コース）	11
理学部	14
工学部	16
4 学校推薦型選抜	18
教養学部	18
教育学部	21
理学部	32
工学部	36
5 最終合格者の発表及び入学手続等	45
6 障がい等のある入学志願者の事前相談について	46
7 検定料の免除	47
8 入試情報の開示	47
9 個人情報の保護について	47
10 入試情報ホームページ	48
11 学生宿舎について	48
12 インターネット出願について	49
13 受験票のダウンロード	53
14 合否照会システムの利用方法について	55

本学における性別情報の取扱いについて

大学入学共通テスト及び本学の出願書類には、公的な統計調査等に必要な情報であるため、現時点では性別（男女いずれか）の記入が必要です。本学では自認する性別の記入が可能ですが、大学入学共通テストの出願書類、本学の出願書類及び高等学校等が作成する調査書に記載の性別は一致している必要があります。

なお、入学手続書類や入学後に本学へ提出する書類においても性別の記入が必要な場合がありますが、その際も自認する性別を記入できます。本学では戸籍との照合や本学が発行する証明書等への性別の記載は行っていない。

1 募集人員及び入学者選抜の日程

総合型選抜

学部	学科	募集人員	大学入学 共通テスト	出願期間	選抜日程	合格発表	入学手続
経済学部	経済学科（昼間コース）	15	課す(注1)	11/4(火)～ 11/7(金)	第1次: 11/15(土) 第2次:(注1)	2/9(月)	2/16(月)
理 学 部	生体制御学科	6	課さない	9/1(月)～ 9/8(月)	講義: 9/27(土) 面接: 11/15(土) (注2)	12/2(火)	12/11(木)
工 学 部	情報工学科	5	課さない		講義: 10/10(金)、 10/17(金) 面接: 11/15(土)		

学校推薦型選抜

学部	学科・課程・コース・専修			募集人員		大学入学 共通テスト	出願期間	選抜日程	合格発表	入学手続				
教養学部	教養学科	Ⅰ型		20		課さない	11/4(火)～ 11/7(金)	11/15(土)	12/2(火)	12/11(木)				
		Ⅱ型		20		課す(注3)		11/16(日)	2/9(月)	2/16(月)				
理 学 部	基礎化学科			5		課す(注3)		11/15(土)			2/9(月)	2/16(月)		
	分子生物学科			5		課す(注3)								
工 学 部	機械工学・システムデザイン学科			7(注4)		課す(注3)								
	電気電子物理工学科			7(注4)		課す(注3)								
	情報工学科			6(注4)		課す(注3)								
	環境社会デザイン学科			10		課す(注3)								
教育学部	学 校 教 育	学校教育 コース		全国枠	地域枠			11/15(土)、 16(日) ※詳細は30 頁参照	11/4(火)～ 11/7(金)	11/15(土)、 16(日) ※詳細は30 頁参照	12/2(火)	12/11(木)		
			教育学専修	3	-	課さない							2/9(月)	2/16(月)
			臨床教育実践学専修	6	4	課す(注3)								
			心理発達支援専修	4	2	課す(注3)								
			乳幼児教育専修	3	-	課さない								
	教 科 教 育 教 員 養 成 課 程	教科教育 コース	特別支援教育専修	2	2	課す(注3)					2/9(月)	2/16(月)		
			国語専修	2	2	課さない					12/2(火)	12/11(木)		
			社会専修	8	2	課す(注3)					2/9(月)	2/16(月)		
			算数・数学専修	4	1	課す(注3)								
			理科専修	3	2	課す(注3)								
			音楽専修	5	-	課さない								
			図画工作・美術専修	3	1	課さない					12/2(火)	12/11(木)		
			技術・情報専修	1	-	課す(注3)					2/9(月)	2/16(月)		
			家庭科専修	5	-	課さない					12/2(火)	12/11(木)		
			保健体育専修	5	2	課さない								
			英語専修	4	-	課す(注3)							2/9(月)	2/16(月)
			養護教諭養成課程			5	-				課す(注1)	第1次: 11/15(土) 第2次:(注1)	2/9(月)	2/16(月)

(注1)第1次選抜の合格者に対して、第2次選抜として大学入学共通テストを課します。第1次選抜の合格発表は12/2(火)に行います。
第1次選抜合格者は大学入学共通テストの必要科目を受験してください。受験しない場合は失格となります。

(注2)第1次選抜の合格者に対して面接を実施します。第1次選抜の合格発表は10/27(月)に行います。

(注3)大学入学共通テストを課す募集単位については、必要科目を受験してください。受験しない場合は失格となります。

(注4)工学部 女子枠

※ 合格者又は入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の募集人員に加えます。

2 学士課程の入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

首都圏の一角を構成する埼玉の地で、ひとつのキャンパスに全学部が集まる総合大学として、埼玉大学は多様な個性が行き交い、融合する場として発展することを目指しています。私たちの下で学んだ卒業生が主体的にこの機会を活かし、知の継承を支える人に育つことを期待します。

社会を構成する組織と活動はますます広域化・複雑化しており、多くの人や組織をひとつの目的に向けて協力させることは困難になる一方で、切実に必要とされています。埼玉大学は実験報告や演習などを通じて知を伝え合う教育や、英語など国際化教育のために多くの資源を割いていますが、自分が確かな専門性を持ってこそ、交流による相互貢献も豊かなものになります。専門的な知を得ること、それを伝え、また受け入れること、そしてその全体を主体的に推し進めることの全てが大切です。

埼玉大学の各学部では、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に沿った多様な教育を実施し、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に沿った厳格な卒業認定を行います。埼玉大学及び入学する学部について、ふたつのポリシーを理解し、自らが学ぶ場として主体的に選んでくれることを、全ての入学者に希望します。

多様性は現代の大学に課された重要課題です。大学もまたひとつの社会なので、教職員も含め全ての参加者が国籍や性別、ハンディキャップの有無に関わらず、互いに尊重し合う方法を学ばなければなりません。

埼玉大学は、キャンパスに多様な知性が輝き融合するよう、各学部・学科等において様々な条件の入学試験を課します。

教養学部 of 入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

教養学部では、次のような人材の育成を目指します。

教養学部は、グローバル・ガバナンス、現代社会、哲学歴史、ヨーロッパ・アメリカ文化、日本・アジア文化、共生構想の6専修課程より構成され、人文学・社会科学の伝統・成果の継承と、多様な文化や価値観の理解を深めるための教育・研究を行っています。自ら問題を設定し解決する能力と、国内外の人々との的確なコミュニケーション能力を身につけて現代の諸問題に適切に対処し、解決の展望を切り拓ける人材の育成を目標としています。

教養学部では、次のような知識の修得、能力の獲得を目指した教育を行います。

- ・ 人文学、社会科学、自然科学に関する幅広い基礎知識
- ・ 各専修課程が提供する専門分野における十分な知識と能力
- ・ 国際的視野を持ち、国内外の多様な文化及び価値観を理解する能力
- ・ 自ら問題を設定して論理的に考察し、表現する能力
- ・ 国内外の人々との的確に意思を疎通できる能力

教養学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ・ 高等学校までの課程の教育内容を幅広く修得している人
- ・ 自らを高め、社会に貢献する意欲と経験のある人
- ・ 様々な地域・時代の人々及びその文化に関心と敬意を抱ける人
- ・ 英語をはじめとする外国語を修得する意欲のある人

教養学部では、広く全国の高等学校卒業者、帰国生徒、外国人留学生などの中から、学士課程教育を受ける適性のある人を積極的に受け入れます。多様な入学受入れのため、それぞれの条件を考慮して以下のような複数の入学試験を実施します。

(1) 一般選抜(前期日程)

- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・ 専門教育の基礎となる学力を調べるために、外国語の試験を課します。

(2) 一般選抜(後期日程)

- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・ 小論文を課します。小論文では、理解力、論理的な考察力、記述力、表現力、主体性などを調べます。

(3) 学校推薦型選抜(Ⅰ型、Ⅱ型)

- ・ 出身学校長作成の「推薦書」などを活用し、総合的に評価します。
- ・ 面接を課します。面接では、在学中の課外活動などをはじめとする各種の特記事項、本学部での勉学意欲などを含めて総合的に評価します。
- ・ Ⅰ型では、課題を与えて小論文を課します。小論文では、論理的な考察力、記述力、表現力などを調べます。
- ・ Ⅱ型では、基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。

(4) 帰国生徒選抜

- ・ 出身学校における学習状況などを記載した出身学校長作成の「成績証明書」などの出願時に提出された資料を面接の際に活用し、総合的に評価します。
- ・ 専門教育の基礎となる学力を調べるために、一般選抜(前期日程)と同一の個別学力検査(外国語)を課します。
- ・ 面接を課します。面接では、理解力、勉学意欲、日本語能力、海外生活で何を修得したかなどを調べます。

(5) 私費外国人留学生選抜

- ・ 出身学校における学習状況などを記載した出身学校長作成の「成績証明書」などの出願時に提出された資料を面接の際に活用し、総合的に評価します。
- ・ 基礎的な学力を調べるために「日本留学試験」(日本語、数学、総合科目)を課します。
- ・ 専門教育の基礎となる学力を調べるために、一般選抜(前期日程)と同一の個別学力検査(外国語)を課します。
- ・ 面接を課します。面接では、理解力、勉学意欲、日本語能力などを調べます。

(6) 第3年次編入学試験

- ・ 一般受験生に対し、専門教育の基礎となる学力を調べるために、専門領域に応じた試験を行います。あわせて面接を課し、入学前の学習活動をはじめとする各種の特記事項、本学部での勉学意欲などを含めて総合的に評価します。
- ・ 社会人受験生に対し、面接試験を課します。社会人経験をはじめとする各種の特記事項、本学部での勉学意欲などを含めて総合的に評価します。
- ・ 私費外国人留学生受験生に対し、専門教育の基礎となる学力を調べるために、専門領域に応じた試験を行います。あわせて面接を課し、入学前の学習活動をはじめとする各種の特記事項、本学部での勉学意欲、日本語能力などを含めて総合的に評価します。

経済学部の入学者受入れの方針(アドミSSION・ポリシー)

埼玉大学経済学部は、経済学科の基に編成された4メジャーの教育研究上の目的のもと、自ら問題を発見・解決し、自らの教養と専門的知見をふまえ社会に積極的に意見を発信できる人材の育成を目指します。そのため、大学での学びに求められる基礎学力、国内外の社会への問題関心、論理的思考力・表現力の基礎となる読解力を持つ人を求めています。また、多様なバックグラウンドを持つ入学者を広く受け入れるため、以下のような複数の入学試験を実施します。

(1) 一般選抜(前期日程(一般選抜枠))

- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・ 専門知識を修得する学力を調べるために、国語、数学、外国語の教科について試験を課します。

(2) 一般選抜(前期日程(国際プログラム枠))

- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・ 専門知識を修得する学力を調べるために、外国語の教科について試験を課します。

(3) 一般選抜(後期日程)

- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・ 課題を与えて小論文を課します。文章を読み、著者の考えを要約又は説明する設問と、それを踏まえて自分の考えを述べる設問を出題します。著者の考えを要約又は説明する設問においては、文章を要約できる理解力、論理的な明晰さ、段落分けなど文章構成の明確さを中心に知識と思考力の観点から、著者の考えを踏まえて自分の考えを述べる設問においては、論理的整合性、与えられた著者の考えとの対比・関連の明快さ、社会科学や社会の出来事に関連する知識と思考力と主体性の観点から、総合的に評価します。

(4) 総合型選抜

- ・ 英語と国際化に関連する埼玉大学経済学部の教育を積極的に受け止め活用してくれることを期待して、国際化と英語に自己投資を済ませた学生、すなわち外部英語能力試験の成績優秀者を募集対象とします。
- ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・ 課題を与えて小論文を課します。文章を読み、著者の考えを要約又は説明する設問と、それを踏まえて自分の考えを述べる設問を出題します。著者の考えを要約又は説明する設問においては、文章を要約できる理解力、論理的な明晰さ、段落分けなど文章構成の明確さを中心に知識と思考力の観点から、著者の考えを踏まえて自分の考えを述べる設問においては、論理的整合性、与えられた著者の考えとの対比・関連の明快さ、社会科学や社会の出来事に関連する知識と思考力と主体性の観点から、総合的に評価します。
- ・ 自己推薦書(志望の動機を含む)と調査書を基礎資料とした面接試験を課し、社会科学に広く関心を持ち、思考力があり、積極的に学修する意欲を持っているかを中心に、知識と思考力と主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。

(5) 私費外国人留学生選抜

- ・ 出身学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「成績証明書」などを選抜の基礎資料とします。
- ・ 基礎的な学力を調べるために、「日本留学試験」(日本語、数学、総合科目又は理科)を課します。
- ・ 課題を与えて小論文を課します。文章を読み、著者の考えを要約又は説明する設問と、それを踏まえて自分の考えを述べる設問を出題します。著者の考えを要約又は説明する設問においては、文章を要約できる理解力、論理的な明晰さ、段落分けなど文章構成の明確さを中心に知識と思考力の観点から、著者の考えを踏まえて自分の考えを述べる設問においては、論理的整合性、与えられた著者の考えとの対比・関連の明快さ、社会科学や社会の出来事に関連する知識と思考力と主体性の観点から、総合的に評価します。
- ・ 面接試験を課し、社会科学に広く関心を持ち、思考力があり、積極的に学修する意欲を持っているかを中心に、知識と思考力と主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。

(6) 社会人選抜

- ・ 課題を与えて小論文を課します。文章を読み、著者の考えを要約又は説明する設問と、それを踏まえて自分の考えを述べる設問を出題します。著者の考えを要約又は説明する設問においては、文章を要約できる理解力、論理的な明晰さ、段落分けなど文章構成の明確さを中心に知識と思考力の観点から、著者の考えを踏まえて自分の考えを述べる設問においては、論理的整合性、与えられた著者の考えとの対比・関連の明快さ、社会科学や社会の出来事に関連する知識と思考力と主体性の観点から、総合的に評価します。
- ・ 面接試験を課し、社会科学に広く関心を持ち、思考力があり、積極的に学修する意欲を持っているかを中心に、知識と思考力と主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。

(7) 第3年次編入学試験

- ・ 外部英語能力試験の成績により語学力を確認します。
- ・ 面接試験を課し、他大学等での学修により身につけた知識や思考力、主体性・多様性・協働性の観点からも総合的に評価します。具体的には、社会科学に広く関心を持ち、思考力があるかどうか、選択するメジャーでの基礎知識、積極的に学習する意欲を持っているかを重視します。

教育学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

教育学部では、次のような人に育つことを期待します。

教育学部は幼稚園(認定こども園を含む)・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校など、様々な学校や保育現場で活躍する教員、保育者を育成するための学部です。教育学部における学びを通じて、確かな学力を有した力量ある質の高い教員、保育者に育つことを目標とします。そのために必要な資質・能力として、まず、豊かな人間性や社会性、主体的に行動する態度、常に学び続ける姿勢などが育まれることを期待します。その上で、教育の場で出会う多様な人々との関りの中で問題を解決していく力と、各教科・諸学に関する高い専門性と教員や保育者としての幅広い知識・実践力というふたつの力量を統合させた人材が育成されることを期待します。

教育学部では、次のような知識の修得、能力の獲得などを目指した教育を行います。

- ・ 人文学・社会科学・自然科学を通じた幅広い教養・知識
- ・ 教育に携わる人が身につけておくべき幅広い基礎知識
- ・ 教育の諸分野(教育に関する諸分野・各教科に関する様々な学問)に関する専門的な知識・技能
- ・ 問題の答えを主体的に探し求めるのに必要な思考力・判断力・表現力
- ・ 教育の場における高度な実践的指導力
- ・ 豊かな人間性を有し、多様な人々との相互理解を通じて協働できる人間力

教育学部では、次のような人の入学を求めています。

- ・ 乳幼児・児童・生徒の個性を伸ばし、社会を生き抜く力を育む教職への意欲・情熱・使命感がある人
- ・ 幅広い教育に対する問題への関心の中に、自分の探求したい得意分野がある人
- ・ コミュニケーション能力や表現力が豊かで、相手の立場に立って考え、周囲と協調して行動できる人
- ・ 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得し、入学後、専門的な知識・技能を理論と実践の両面にわたって修得するために必要な、諸教科の学力や実技能力を有している人
- ・ 入学後の学修において必要となる、様々な諸問題に柔軟に対応できるだけの確かな学力を有している人

教育学部では、入学前に次のような学習をしておくことを期待しています。

(1) 学校教育教員養成課程

まず期待されるのは、高等学校で学ぶべき基礎的・基本的な知識の確実な修得です。その知識を基にして様々な課題を解決するためには、思考力や判断力、表現力を育むことが必要です。課題そのものを自ら発見するためには、主体的に学習する態度を養っておくことも大切です。実技が求められる教科に対しては、体験活動や鑑賞などを通して、基礎的な知識・技能を習得しておくことが期待されます。

また、大学に集う多様な学生と協働して研究を進めるために、自らの考えをわかりやすく伝える言語能力や、対話的に学び合おうとする寛容性も求められます。

学校教育、乳幼児教育、特別支援教育に関する専門的な知識や技能は、大学入学後に学びますので、入学前に修得する必要はありませんが、教育問題に対する幅広い関心と、将来ぜひ教員・保育者になりたいという強い意欲を持つことが期待されます。

(2) 養護教諭養成課程

まず期待されるのは、高等学校で学ぶべき基礎的・基本的な知識の確実な修得です。その知識を基にして様々な課題を解決するためには、思考力や判断力、表現力を育むことが必要です。課題そ

のものを自ら発見するためには、主体的に学習する態度を養っておくことも大切です。

また、大学に集う多様な学生と協働して研究を進めるために、自らの考えをわかりやすく伝える言語能力や、対話的に学び合おうとする寛容性も求められます。

学校教育に関する専門的な知識や技能は、大学入学後に学びますので、入学前に修得する必要はありませんが、教育問題に対する幅広い関心と、将来ぜひ養護教諭になりたいという強い意欲を持つことが期待されます。

教育学部では、広く全国の高等学校卒業者、外国人留学生などの中から、学士課程教育を受ける適性のある人を積極的に受け入れます。多様な入学者を受け入れるため、それぞれの条件を考慮して以下のような基本方針で複数の入学試験を実施します。

(1) 一般選抜(前期日程)

- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・ 専門教育の基礎となる学力を調べるために、専門領域に応じて国語、数学、理科、外国語等の教科についての試験を課す専修もあります。
- ・ 音楽、美術、保健体育の能力を調べるために実技検査を課す専修もあります。
- ・ 小論文を課す専修もあります。小論文では社会的事象に対する関心、論理的思考力等を評価します。
- ・ 面接を課す専修等もあります。面接ではそれぞれの専門に関する関心、知識、理解、教職への意欲等を確認します。

(2) 一般選抜(後期日程)

- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・ 音楽の能力を調べるために実技検査を課す専修もあります。
- ・ 面接を課す専修等もあります。面接ではそれぞれの専門に関する関心、知識、理解、教職への意欲等を確認します。

(3) 学校推薦型選抜

- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「推薦書」・「調査書」と「各種調書」を活用し、総合的に評価します。
- ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課す専修等もあります。
- ・ 小論文を課す専修等もあります。小論文では思考力、理解力、表現力等を確認します。
- ・ 面接を課します。面接ではそれぞれの専門に関する関心、知識、理解、教職への強い意欲等を確認します。
- ・ 音楽、美術、保健体育の能力を調べるために実技検査を課す専修もあります。
- ・ 養護教諭養成課程では2段階の選抜を実施します。第1次選抜は推薦書、調査書、各種調書、小論文及び面接の成績に基づいて、保健に関する知識・理解、思考力、表現力、学修意欲等の観点から選抜します。第2次選抜は、第1次選抜の合格者に対して学力試験として大学入学共通テストを課します。

(4) 私費外国人留学生選抜(学校教育教員養成課程)

- ・ 出身学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「修了証明書及び成績証明書」などを選抜の基礎資料とします。
- ・ 基礎的な学力を調べるために「日本留学試験」(日本語、数学、総合科目又は理科)を課します。
- ・ 専門教育の基礎となる学力を調べるために、専修及び専門領域に応じて、国語、数学、理科、外国語等の教科についての試験を課します。
- ・ 音楽、美術、保健体育の能力を調べるために実技検査を課す専修もあります。
- ・ 小論文を課す専修等もあります。小論文では社会的事象に対する関心、論理的思考力等を評価します。
- ・ 面接を課します。面接では志望の動機等を確認し、特に日本語能力を重視します。
- ・ 専門領域に対する知識・理解、学修意欲を確認するために面接を課す専修もあります。

理学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

理学部では、次のような人を育成することを目指しています。

理学とは広く数学・物理・化学・生物・地学にわたる自然科学を対象として、その謎を解き明かし、自然現象の把握に有効な概念を確立し、その現象を支配する法則を発見し、それを活用・応用していく英知を持って広く社会の進歩に貢献することを目指す学問分野です。理学部には、これらの基礎的な自然科学分野を網羅し、その関連性も重視した5学科(数学科・物理学科・基礎化学科・分子生物学科・生体制御学科)が設置されています。

理学部では、学士課程学生(以下、学生)が、自らが専攻する専門分野を、基礎から応用へ向けて段階的に学び、専門知識と思考力・探求力・問題発見及び解決力を修得・獲得することを目指します。また理学部では、学生が専攻する専門分野を超えて、広く自然科学分野の知識と思考力を修得し、加えて人文学、社会科学、現代テクノロジー分野についても幅広い基本的知識を身につけ、自らが修得した知識を活用できる汎用的な能力や国内外の人々とのコミュニケーション能力を身につけた人材を育成することを目指しています。

理学部では、このような知識を修得し、能力・技能を獲得した学生が社会の様々な分野に進出したのちに客観的な判断力と合理的な決断力を発揮できる人材として活躍すること、あるいは大学院に進み、高度な研究環境のもとでさらなる研究能力の向上に研鑽し、その学問分野の理解を深め、研究者や高度専門職業人として社会をリードし、中核となって活躍する人材として成長することを期待します。

理学部では、次のような知識の修得、能力などの獲得を目指した教育を行います。

理学部では入学した学生を、「育成したい人材像」に向けて育成するために、以下の知識・能力・技能を修得・獲得するための教育を行います。

- ・ 自然科学の専門分野に対する十分な知識と思考力、問題発見及び解決能力
学生が所属する学科が開講する講義・実験・演習・実習等の授業を受講し、専攻する専門分野を基礎から応用へ向けて段階的に学ぶことにより、専門知識と思考力・探求力・問題解決力・分析力を高度に深化・育成する教育を行います。
- ・ 自然科学に対する幅広い基礎知識
専攻する専門分野を超えて、理学部他学科等が開講する授業を受講することにより、広く自然科学に関する知識とそれを踏まえた思考力を修得する教育を行います。
- ・ 人文学、社会科学、現代テクノロジー、情報機器に関する基本的理解・技能
教養・スキル・リテラシー科目の授業等を受講することにより、社会人として身につけておくべき基礎知識・技能の修得、またそれを生かした思考力を育成する教育を行います。
- ・ 知識を活用できる汎用的な能力、国内外の人々と的確に意思疎通できるコミュニケーション能力
理学部や各学科が開講する関連授業を受講することにより、理工系人材として、専門知識以外の身につけるべき能力の獲得と向上を目指す教育を行います。

理学部では、次のような人が入学することを期待します。

自然科学の各分野に関わり、強い知的好奇心と探求心を有することは、学士課程で理学を学び、継続的に自己を磨き進化させていくための原動力です。理学部で学ぼうとする皆さんには入学時において、

- ・ 自然科学の学問分野に関心を持ち、その分野の専門知識を主体的に学習し、修得することに強い好奇心と熱意を持っていること。
- ・ 「理学部の入学者受入れの方針」に書かれた理念に共感するとともに、その方針に従い学修に努め、将来、学士あるいは修士・博士課程を修めた、自然科学分野の専門性を有する社会人として、様々な分野で社会に貢献しようとする志を持っていること。

これらに加えて、入学までに身につけておいてほしいことは以下の点です。

- ・ 入学後の理学部各学科での学修で必要となる数学、理科について、高等学校学習指導要領に基づき「学ぶべき事項」を幅広く修得していること。加えて、英語、国語は自然科学の研究活動における国際的な共通言語として、また論理的な文章の作成のための素養として不可欠であり、これらの語学能力を今後さらに発展させるために十分な基礎力を入学時に有すること。

- ・ 高等学校における数学、理科に関わる実験・演習、若しくは課外活動は、自然科学を学ぶ上で必要な論理的思考力や分析力・判断力を育むために有効な取り組みです。加えて、協働して実験・演習などの課題に取り組む経験はコミュニケーション能力の向上に有効であり、また、実験や実習・演習の過程・成果を説明・記述する作業は、表現力の向上に役に立つと考えられることから、これらの諸活動に積極的に参加することを推奨します。

理学部では、広く全国の高等学校卒業者、外国人留学生などの中から、上記の育成目標を踏まえ、そのための学士課程教育を受ける適性のある人を積極的に受け入れます。多様な入学者を受け入れるため、それぞれの条件を考慮して以下のような複数の入学試験を実施します。

(1) 一般選抜(前期日程)

- ・ 高等学校において修得した基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・ 数学科では、専門分野に関わる教育の基礎となり、かつ専門分野以外の学士課程教育を受けるにあたり求められる学力を調べるために、数学の個別学力試験を課します。
- ・ 分子生物学科では、専門分野に関わる教育の基礎となり、かつ専門分野以外の学士課程教育を受けるにあたり、求められる学力を調べるために、理科の教科についての個別学力試験を課します。
- ・ 生体制御学科では、生物学に関連する知識と論理的思考力、文章の表現力を評価するために、個別学力試験として総合問題を課します。
- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。

(2) 一般選抜(後期日程)

- ・ 高等学校において修得した基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・ 数学科、物理学科、基礎化学科では、専門分野に関わる教育の基礎となり、かつ専門分野以外の学士課程教育を受けるにあたり、求められる学力を調べるために、数学、理科の教科についての個別学力試験を課します。
- ・ 分子生物学科では、学士課程で自ら志す専門分野を学ぶにあたっての意欲及び好奇心、主体的に学修に取り組む態度、表現力並びにコミュニケーション能力を評価するために面接を課します。
- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から評価します。

(3) 総合型選抜(生体制御学科)

- ・ 受験者には指定された講義を受講した上で、講義終了後に小テストを課すとともに、後日レポート(課題)の提出を求めます。レポートや小テストでは、高等学校において身につけた知識、受講した講義内容に対する理解力及び文章表現力などを評価します。
- ・ 面接を課します。面接では、生物学や英語の基礎学力に加えて、コミュニケーション能力並びに主体性を評価します。
- ・ 選抜は、高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」、「志望理由書」、「活動報告書」、各講義終了時の小テスト、課題に対するレポート及び面接により総合的にを行います。

(4) 学校推薦型選抜(基礎化学科、分子生物学科)

- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」、「推薦書」を活用し、総合的に評価します。
- ・ 高等学校において修得した数学、理科及び英語の基礎的な学力を検査するために大学入学共通テストを課します。
- ・ 学士課程で自らが志す専門分野を学ぶにあたっての意欲及び好奇心、主体的に学修に取り組む態度、表現力並びにコミュニケーション能力を評価するために面接を課します。

(5) 私費外国人留学生選抜

- ・ 出身学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「成績証明書」などの出願時に提出された資料を活用し、総合的に評価します。
- ・ 基礎的な学力を調べるために「日本留学試験」(日本語・数学・理科)を課します。
- ・ 専門教育の基礎となる学力を調べるために、数学科、物理学科、基礎化学科及び分子生物学科

では個別学力試験を課します。

- ・面接を課し、一般的学力(高等学校卒業レベル)及び日本語能力を確認します。また、学士課程で自らが志す専門分野を学ぶにあたっての意欲及び好奇心、主体的に学修に取り組む態度、表現力並びにコミュニケーション能力を評価します。加えて理解力、論理的思考力を確認します。
- ・生体制御学科では面接時に生物学に関する口頭試問を課します。

工学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

工学部では、次のような人を育成することを目指しています。

工学部は、自然科学、人文・社会科学等に対する幅広い教養と知識を有し、専門分野における十分な知識と能力を備え、次代の我が国及び世界の産業社会を担う優れた技術者を養成することを目的としており、機械工学・システムデザイン学科、電気電子物理工学科、情報工学科、応用化学科、環境社会デザイン学科の5つの専門教育プログラム(学科)で構成されています。また、専門教育において修得した基礎的な知識・能力を活かして、大学院に進学し、高度技術者、研究者への道を歩むための能力を身に付けるとともに、豊かな教養と社会的責任を自覚できる倫理観を有し、実践的な企画・立案ができる人材を育てることを目指しています。

工学部では、次のような知識、能力などの修得を目指した教育を行います。

- ・人文・社会科学に対する幅広い教養と知識
- ・工学の基礎及び各専門分野における十分な知識と能力
- ・課題を探究・発見し解決する実践的能力
- ・国際的視野とコミュニケーション能力
- ・多様な人々と協調し、主体的に行動する資質
- ・科学技術が社会や自然に及ぼす影響、技術者・研究者の社会的責任を理解できる倫理観

工学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ・高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得しているとともに、入学後の学修において特に必要となる数学、理科、英語の基礎学力を有している人
- ・国際的なプレゼンテーションやコミュニケーションの能力を修得するために必要な基礎学力を有している人
- ・知識を応用問題に活かすために、論理的思考ができる人
- ・工学の問題に関して知的好奇心が旺盛で、自ら学ぼうとする学修意欲のある人
- ・専門技術者として、グローバルな視点に立って国際社会に貢献する意欲のある人
- ・問題を整理し、解決方法を見出して、それを実践する意欲を有する人
- ・幅広い分野・世代の人との議論及び共同作業によって目的を達成する意欲を有する人

工学部では、広く全国の高等学校卒業者、帰国生徒、外国人留学生などの中から、学士課程教育を受ける適性のある人を積極的に受け入れます。多様な入学者を受け入れるため、それぞれの条件を考慮して以下のような複数の入学試験を実施します。

(1) 一般選抜(前期日程)

- ・高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- ・基礎的な知識及び思考力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・表現力、主体性を総合的に調べるために、小論文を課します。
- ・4学科では、専門教育の基礎として必要な学力を調べるために、数学の教科についての試験を課します。
- ・1学科では、専門基礎知識、理解力、論理的思考力を総合的に調べるために、総合問題を課します。

(2) 一般選抜(後期日程)

- ・高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。

- ・ 基礎的な知識及び思考力を調べるために大学入学共通テストを課します。
 - ・ 専門教育の基礎として必要な知識、及び理解力、論理的思考力、表現力を調べるために、数学と理科の教科についての試験を課します。
- (3) 総合型選抜(情報工学科)
- ・ 埼玉大学の講義を受講した上で、講義時に出题される課題に対するレポート、講義終了時に行われる小テストを課します。レポートや小テストでは、高等学校において身につけた知識と、受講した講義内容に対する理解力及び文章表現力を確認します。
 - ・ 面接を課します。面接では、数学・英語の基礎学力に加えて、主体性、表現力及びプレゼンテーション能力を評価します。
 - ・ 選抜は、高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」、「志望の理由」、毎回の講義終了時の小テスト、課題に対するレポート及び面接により総合的に行います。
- (4) 学校推薦型選抜
- (機械工学・システムデザイン学科、電気電子物理工学科)(女子枠)
- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「推薦書」・「調査書」と「志望の理由」・「自己アピール」を活用し、総合的に評価します。
 - ・ 面接を課します。面接では、表現力、コミュニケーション能力、主体性、多様性を重視します。
 - ・ 数学、英語、理科の基礎知識と思考力を検査するために大学入学共通テストを課します。
- (情報工学科)(女子枠)
- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「推薦書」・「調査書」と「志望の理由」・「自己アピール」を活用し、総合的に評価します。
 - ・ 面接を課します。面接では、表現力、コミュニケーション能力、主体性、多様性を重視します。
 - ・ 数学、英語、情報の基礎知識と思考力を検査するために大学入学共通テストを課します。
- (環境社会デザイン学科)
- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「推薦書」・「調査書」と「志望の理由」・「自己アピール」・「活動実績」を活用し、総合的に評価します。
 - ・ 面接を課します。面接では、表現力、コミュニケーション能力、主体性、多様性を重視します。
 - ・ 数学、英語、理科の基礎知識と思考力を検査するために大学入学共通テストを課します。
 - ・ 小論文を課します。小論文では理解力、論理的な思考力や表現力などを評価します。
- (5) 帰国生徒選抜
- ・ 出身学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「成績証明書」などの出願時に提出された資料を面接の際に活用し、総合的に評価します。
 - ・ 専門教育の基礎として必要な学力を調べるために、数学の教科についての試験を課します。
 - ・ 面接を課します。面接では、理解力、論理的思考力、主体性、表現力、及び一般的学力(高等学校卒業レベル)と語学力を確認します。
- (6) 私費外国人留学生選抜
- ・ 出身学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「修了証明書及び成績証明書」などの出願時に提出された資料を面接の際に活用し、総合的に評価します。
 - ・ 基礎的な学力を調べるために「日本留学試験」(日本語、数学、理科)を課します。
 - ・ 3学科では、専門教育の基礎として必要な学力を調べるために、数学の教科についての試験を課します。
 - ・ 面接を課します。面接では、理解力、論理的思考力、主体性、表現力、及び一般的学力(高等学校卒業レベル)と語学力を確認します。
- (7) 第3年次編入学試験
- ・ 各学科のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために数学の試験を課します。
 - ・ 面接を課します。面接では他大学等での学修により身につけた理解力、論理的な思考力や表現力などを確認します。

3 総合型選抜

経済学部(昼間コース)

経済学科 募集人員:15名

出願資格及び要件

出願できる者は、次の各条件を全て満たす者としてします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校の後期課程を、令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (2) 高等学校又は中等教育学校の後期課程における調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者
- (3) 次のいずれかの外部英語能力試験で、下記以上のスコアを取得した者
 - ・ケンブリッジ英語検定 140 ※リンガスキルを含みます
 - ・実用英語技能検定 1950 ※一次試験のみのスコア提出は認めません。
 - ・GTEC(Advanced, Basic, CBT) 930 ※4技能オフィシャルスコアに限ります。
 - ・IELTS(アカデミック・モジュール) 4.0
 - ・TEAP 225
 - ・TEAP CBT 420
 - ・TOEFL iBT 42
 - ・TOEIC L&R / TOEIC S&W 1150 ※TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコア
 ※外部英語能力試験の成績は、出願時までの2年以内に受験し取得したスコアに限ります。

<出願上の留意事項>

- (1) 本総合型選抜に出願した場合、他の総合型選抜及び学校推薦型選抜へ出願することはできません。ただし、総合型選抜に出願し、第1次選抜で不合格となった場合には、他の総合型選抜あるいは学校推薦型選抜に出願できます。
- (2) 総合型選抜に出願した者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、総合型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

選抜方法

調査書、自己推薦書(志望の理由を含みます)、小論文、面接及び大学入学共通テストによります。(別表参照)

- (1) 第1次選抜及び第2次選抜
 - 【第1次選抜】調査書、自己推薦書(志望の理由を含みます)、小論文及び面接の成績により選抜します。
 - 【第2次選抜】第1次選抜の合格者に対して、大学入学共通テストの成績により選抜します。
- (2) 小論文の出題意図、採点・評価基準

小論文においては、文章を読み、著者の考えを要約又は説明する設問と、それを踏まえて自分の考えを述べる設問を出題します。著者の考えを要約又は説明する設問においては、文章を要約できる理解力、論理的な明晰さ、段落分けなどの文章構成の明確さを中心に知識と思考力の観点から、著者の考えを踏まえて自分の考えを述べる設問においては、論理的整合性、与えられた著者の考えとの対比・関連の明快さ、社会科学や社会の出来事に関連する知識と思考力と主体性の観点から総合的に評価します。
- (3) 面接の形式、採点・評価基準
 - ・面接は日本語で行います。
 - ・形式は個人面接を基本としますが、志願者数により集団面接とする場合もあります。
 - ・複数の面接員で実施します。
 - ・グループディスカッションは行いません。
 - ・面接の採点・評価基準

社会科学に広く関心を持ち、思考力があり、積極的に学修する意欲を持っているかを中心に、知識を思考力と主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- (4) 合否判定基準

第1次選抜は、小論文及び面接の得点順により合否を決定します。
総合点が同点の場合は、同順位とします。
ただし、小論文又は面接のいずれかの得点が4割未満の場合は不合格とします。
なお、自己推薦書(志望の理由を含む)及び調査書は選抜の基礎資料とします。
第2次選抜は、大学入学共通テストの指定する4教科・科目のうち高得点3教科・科目の合計得点率が65%以上の者を合格とします。

別表

教科・科目等				配点(注1)	
大学入学共通テスト	国語	『国語』	必須（近代以降の文章のみ利用します。）	200	4教科・科目のうち、高得点の3教科・科目を採用します。
	地理歴史及び公民	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』	左の5科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	200	
	数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	200	
	外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』	必須	200	
	小論文			200	
面接			200		

(注1)大学入学共通テストの配点は、以下の方法により換算します。
 国語：近代以降の文章を使用した問題を200点満点に換算した得点を採用します。
 地理歴史及び公民：受験した科目を200点満点に換算した得点を採用します。
 数学「数学Ⅰ、数学A」・「数学Ⅱ、数学B、数学C」の合計得点をそのまま採用します。
 英語：「リーディング(100点)×1.5+リスニング(100点)×0.5=200点」に換算します。
 リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。

選抜日程	
第1次選抜	令和7年11月15日(土) 小論文 10:30～11:30(60分) 面接 13:00～ 実施場所：埼玉大学経済学部
第1次選抜合格者発表	令和7年12月2日(火) 14:00 経済学部ホームページ(https://www.saitama-u.ac.jp/eco/)で発表します。 ※電話による可否結果の問い合わせには一切応じません。
第2次選抜	令和8年度大学入学共通テストにおいて、必ず指定の教科・科目を受験してください。受験しない場合は失格となります。

大学入学共通テスト成績請求チケットの提出(※第1次選抜合格者のみ対象)
大学入学共通テスト出願サイトから成績請求チケットの発行が可能となりましたら、①「国公立総合型選抜用」の成績請求チケットを発行し、②本学のインターネット出願サイトで成績請求番号を登録し、③印刷した「成績請求チケット貼付用紙」に成績請求チケットを貼って、令和7年12月19日(金)までに郵送により提出してください。【提出先】〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課

出願手続	
出願方法	49頁「12 インターネット出願について」により、手続きを行ってください。インターネットによる出願登録後、入学検定料を支払い、提出書類を郵送することにより、出願手続きが完了します。
出願期間	令和7年11月4日(火)～11月7日(金) 期間内郵送必着とします(※大学持参不可)。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月28日(火)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月10日(月)正午までに到着した提出書類のうち、11月6日(木)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。)
提出書類等	入学志願票 1 志願者登録 インターネット出願サイト(https://e-apply.jp/ds/saitama-n/)又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真をアップロードしてください。 2 入学検定料の支払い 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料は、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、ペイジー対応銀行ATM、のいずれかで支払うことができます。 入学検定料 17,000円 ※検定料の免除については、47頁を参照してください。 3 出願書類の印刷と郵送 入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	自己推薦書 (志望の理由を含む) パソコン等により作成したもの。なお、作成にあたってはA4サイズ1枚、1200字程度、書類上部に氏名と生年月日を記載してください。(本学指定の様式はありません)
	調査書 出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のもののまで記載されたもの。
	外部英語能力試験の成績証明書 ・ケンブリッジ英語検定：認定ステートメント(certifying statement) ・実用英語技能検定：英検CSEスコア証明書、合格証明書、デジタル証明書*のいずれか。 ・GTEC(Advanced, Basic, CBT)： オフィシャルスコア証明書(OFFICIAL SCORE CERTIFICATE) ・IELTS(アカデミック・モジュール)：成績証明書(Test Report Form) ・TEAP、TEAP CBT：成績表 ・TOEFL iBT：Test Taker Score Report ※ETSから本学へ直接送付される「Official Score Reports」は利用できません。 ・TOEIC L&R / TOEIC S&W：公式認定証(Official Score Certificate) 又はデジタル公式認定証(Digital Official Score Certificate)* *英検又はTOEICのデジタル証明書を提出する場合は、デジタル証明書プレビュー画面をプリントアウトした用紙又は同一試験のスコア証明書のコピーを他の提出書類とともに郵送したうえで、経済学部係メールアドレス(keizaigakumu@gr.saitama-u.ac.jp)宛にデジタル証明書ファイル(英検：json形式/TOEIC：PDF形式)を送付してください。
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学経済学部係

出願にあたっての注意事項

- 1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。)
- 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - (1) 検定料の返還請求ができるもの
 - ア 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
 - イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - ウ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
 - (2) 返還請求の方法
本学ホームページの入試情報ページ(「入試情報」→「入試に関するその他の情報はこちら」→「検定料等の返還について」)
より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ、必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。

【返還請求書】<https://www.saitama-u.ac.jp/media/henkanseikyu.pdf>
送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)
- 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、52頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、出願した学部の学部係まで連絡してください。
- 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

理学部

生体制御学科 募集人員:6名

出願資格及び要件

出願できる者は、次の各条件を全て満たす者としす。

- (1) 高等学校又は中等教育学校の後期課程を、令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (2) 高等学校又は中等教育学校の後期課程において生物(又は相当する科目 ※ただし、「生物基礎」は含みません。)を既修又は出願時に履修中の者

<出願上の留意事項>

- (1) 本総合型選抜に出願した場合、他の総合型選抜及び学校推薦型選抜へ出願することはできません。ただし、総合型選抜に出願し、第1次選抜で不合格となった場合には、他の総合型選抜あるいは学校推薦型選抜に出願できます。
- (2) 総合型選抜に出願した者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、総合型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

選抜方法・選抜日程

- (1) 大学入学共通テストを免除し、以下の方法により行います。
 - ・ 第1次選抜を実施します。
 - ・ 受験者は、同じ日に埼玉大学構内で行われる2つの講義を受講し、各講義終了後に小テスト(20分程度)を受けます。また、各講義で与えられる課題に対するレポートを所定の期日までに提出します。
 - ・ 第1次選抜は、出願時に提出された書類(調査書、志望理由書及び活動報告書)、各講義終了後の小テスト、課題に対して提出されたレポートにより行います。
 - ・ 第1次選抜の合格者に対し、面接(生物学、英語の口頭試問を含みます)を課します。
 - ・ 第2次選抜は、出願時に提出された書類(調査書、志望理由書及び活動報告書)、各講義終了後の小テスト、課題に対して提出されたレポート及び面接により総合的に行います。
- (2) 面接の形式、採点・評価基準
 - ・ 形式は個人面接とします。複数の面接員で実施します。
 - ・ 面接は日本語で行い、生物学及び英語に関する口頭試問を含みます。
 - ・ 生物学や英語の基礎学力に加えて、コミュニケーション能力並びに主体性を評価します。
- (3) 可否判定基準
 - ・ 第1次選抜は、出願時に提出された書類(調査書、志望理由書及び活動報告書)、小テスト、レポートの総合点順に可否を決定します。総合点が同点の場合は、同順位とします。
 - ・ 第2次選抜は、出願時に提出された書類(調査書、志望理由書及び活動報告書)、小テスト、レポート及び面接の総合点順に可否を決定します。総合点が同点の場合は、同順位とします。

区分	検査日時等	検査内容	配点	備考(レポート提出期限等)
講義	令和7年9月27日(土) 講義 10:00~11:00	小テスト	10	令和7年10月7日(火) 17:00まで 提出先:理学部係 (郵送の場合:締切日当日の消印有効)
	小テスト 講義終了後(20分程度)	レポート	10	
	令和7年9月27日(土) 講義 13:00~14:00	小テスト	10	
	小テスト 講義終了後(20分程度)	レポート	10	
書類	調査書、志望理由書及び活動報告書を評価します。		20	出願時に提出
面接	令和7年11月15日(土) 13:00~	面接	40	第1次選抜合格者に対して実施

講義及び面接の実施場所:埼玉大学理学部

第1次選抜合格者発表 令和7年10月27日(月) 14:00 ~ 令和7年11月15日(土) 13:00
 理学部ホームページ(<https://www.saitama-u.ac.jp/sci/>)で発表します。
 ※電話による可否結果の問い合わせには一切応じません。

出願手続		
出願方法	49頁「12 インターネット出願について」により、手続きを行ってください。インターネットによる出願登録後、入学検定料を支払い、提出書類を郵送することにより、出願手続きが完了します。	
出願期間	令和7年9月1日(月)～9月8日(月) 期間内郵送必着とします(※大学持参不可)。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、8月25日(月)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて9月9日(火)正午までに到着した提出書類のうち、9月7日(日)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。)	
提出書類等	入学志願票	1 志願者登録 インターネット出願サイト(https://e-apply.jp/ds/saitama-n/)又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真をアップロードしてください。 2 入学検定料の支払い 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料は、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、ペイジー対応銀行ATM、のいずれかで支払うことができます。 入学検定料 17,000円 ※検定料の免除については、47頁を参照してください。 3 出願書類の印刷と郵送 入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	志望理由書	本学ホームページ掲載の様式を利用してください。本人がパソコンを用いて作成し、印刷して提出してください。
	活動報告書	本学ホームページ掲載の様式を利用してください。本人がパソコンを用いて作成し、印刷して提出してください。
	調査書	出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のもののまで記載されたもの。(2学期制等で3年次の成績が出ない場合は、調査書備考にその旨記載してください。)
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学理学部係	

出願にあたっての注意事項
1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。 到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。) 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (1) 検定料の返還請求ができるもの ア 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合 イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合 ウ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合 (2) 返還請求の方法 本学ホームページの入試情報ページ(「入試情報」→「入試に関するその他の情報はこちら」→「検定料等の返還について」)より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ、必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。 【返還請求書】https://www.saitama-u.ac.jp/media/henkanseikyu.pdf 送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当 (返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。) 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、52頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、出願した学部の学部係まで連絡してください。 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

工学部

情報工学科 募集人員:5名

出願資格及び要件

出願できる者は、次の各条件を全て満たす者としてします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校の後期課程を、令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (2) 高等学校又は中等教育学校の後期課程における数学の学習成績の状況と理科の学習成績の状況を計算し、この2つを平均した値が4.3以上である者。なお、数学には数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bの内容に対応する科目が含まれること。また、数学Ⅲ及び数学Cの内容に対応する科目を既修している場合は当該科目を含む学習成績の状況と含まない学習成績の状況を比較し、高い方の値を利用する。
- (3) 高等学校又は中等教育学校の後期課程において、物理の内容に対応する科目(ただし、「物理基礎」は含みません。)を既修又は出願時に履修している者
- (4) 高等学校又は中等教育学校の後期課程において、数学Ⅲ及び数学Cの内容に対応する科目を既修又は出願時に履修している者
- (5) 高等学校又は中等教育学校の後期課程における調査書の学習成績概評がB以上の者

<出願上の留意事項>

- (1) 本総合型選抜に出願した場合、他の総合型選抜及び学校推薦型選抜(工学部情報工学科を除く)へ出願することはできません。ただし、総合型選抜に出願し、第1次選考で不合格となった場合には、他の総合型選抜あるいは学校推薦型選抜に出願できます。
- (2) 総合型選抜に出願した者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、総合型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。
- (3) 本総合型選抜の志願者は、工学部情報工学科が実施する学校推薦型選抜にも出願し、受験することができます。ただし、総合型選抜の合格者で入学手続をした場合は、学校推薦型選抜の合格者とはなりません。

選抜方法・選抜日程

- (1) 大学入学共通テストを免除し、以下の方法により行います。
 - ・ 出願者が20名を超えた場合には、出願時に提出された志望の理由及び調査書により第1次選考を実施し20名を選考する場合があります。第1次選考では、志望の理由(70点満点)と調査書の内容(30点満点)を評価し、合計点の上位20名を合格とします。第1次選考を実施した場合は、令和7年9月26日(金)以降、出願者全員に合否通知書及び必要書類を送付します。なお、電話による合否結果の問合せには一切応じません。
 - ・ 受験者(第1次選考実施の場合は、合格した受験者)は、「情報システム工学入門」の講義を2回受講し、毎回の講義終了時に与えられる課題に対するレポートを翌週までに提出します。また、毎回の講義終了後、理解力を知るため、小テスト(20分程度)を行います。
 - ・ 選抜は、出願時に提出された志望の理由、調査書、小テスト、課題に対して提出されたレポート及び面接(英語、数学の口頭試問を含みます。)により総合的に行います。
- (2) 面接の形式・採点・評価基準
 - ・ 面接は日本語で行い、数学や英語に関する口頭試問を含みます。
 - ・ 形式は個人面接とします。複数の面接員で実施します。
 - ・ 数学・英語の基礎学力に加えて、主体性、表現力及びプレゼンテーション能力を評価します。
- (3) 合否判定基準
 - ・ レポート及び面接の総合点順に合否を決定します。
 - ・ 総合点が同点の場合は、面接点が高い方を上位とします。
 - ・ 志望の理由及び調査書は、選抜の基礎資料とします。ただし、合否ラインで同点・同順位となった場合に限り、志望の理由及び調査書の内容を第1次選考の配点により評価し、合否を判定します。

区分	検査日時等	検査内容	配点	備考(レポート提出期限等)
講義	令和7年10月10日(金) 講義 16:20~17:50 小テスト 18:00~18:20	小テスト	10	令和7年10月17日(金) 17:00まで 提出先:工学部係 (郵送の場合:締切日当日の消印有効)
		レポート	10	
	令和7年10月17日(金) 講義 16:20~17:50 小テスト 18:00~18:20	小テスト	10	令和7年10月24日(金) 17:00まで 提出先:工学部係 (郵送の場合:締切日当日の消印有効)
		レポート	10	
面接	令和7年11月15日(土) 13:00~	面接	60	英語、数学の口頭試問を含みます。

講義及び面接の実施場所:埼玉大学工学部

出願手続		
出願方法	49頁「12 インターネット出願について」により、手続きを行ってください。インターネットによる出願登録後、入学検定料を支払い、提出書類を郵送することにより、出願手続きが完了します。	
出願期間	令和7年9月1日(月)～9月8日(月) 期間内郵送必着とします(※大学持参不可)。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、8月25日(月)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて9月9日(火)正午までに到着した提出書類のうち、9月7日(日)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。)	
提出書類等	入学志願票	1 志願者登録 インターネット出願サイト(https://e-apply.jp/ds/saitama-n/)又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真をアップロードしてください。 2 入学検定料の支払い 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料は、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、マイジー対応銀行ATM、のいずれかで支払うことができます。 入学検定料 17,000円 ※検定料の免除については、47頁を参照してください。 3 出願書類の印刷と郵送 入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	志望理由書	本人が記載してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	調査書	出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のもののまで記載されたもの。
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学工学部係	

出願にあたっての注意事項
1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。 到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。) 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (1) 検定料の返還請求ができるもの ア 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合 イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合 ウ 第1次選考(書類審査)で不合格となった場合(この場合の返還額は13,000円です) エ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合 (2) 返還請求の方法 本学ホームページの入試情報ページ(「入試情報」→「入試に関するその他の情報はこちら」→「検定料等の返還について」)より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ、必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。 【返還請求書】https://www.saitama-u.ac.jp/media/henkanseikyu.pdf 送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当 (返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。) 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、52頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、出願した学部・学部の学部長まで連絡してください。 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

4 学校推薦型選抜

教養学部

教養学科 募集人員：Ⅰ型20名、Ⅱ型20名

推薦要件

【Ⅰ型】

- 1 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数
全国の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。)
推薦できる者の数は、1校につき1名とします。
- 2 推薦対象者
次の各条件を満たす者としてします。
(1) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者
(2) 令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
(3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者

【Ⅱ型】

- 1 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数
全国の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。)
推薦できる者の数は、1校につき1名とします。
- 2 推薦対象者
次の各条件を満たす者としてします。
(1) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者
(2) 令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者

<出願上の留意事項> ※同じ学校からⅠ型・Ⅱ型にそれぞれ別の者が出願することは可能です。同じ者がⅠ型・Ⅱ型を併願することはできません。
(10月8日追記)

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
- (2) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

選抜方法

【Ⅰ型】

- (1) 選抜方法
大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、志望の理由、調査書、小論文及び面接によります。(別表参照)
(志望の理由…志望の理由を自由に書きなさい。面接の際の資料とする。(1200字以内))
- (2) 小論文の採点・評価基準
論理的な考察力、記述力、表現力などを調べます。
- (3) 面接の形式、採点・評価基準
・面接は日本語で行います。
・形式は個人面接を基本としますが、志願者数により集団面接とする場合もあります。
・複数の面接員で実施します。
・グループディスカッションは行いません。
・面接の採点・評価基準
在学中の学習成果や課外活動、本学部での勉学意欲などを総合的に評価します。
- (4) 可否判定基準
・小論文及び面接の総合点順に可否を決定します。
・総合点が同点の場合は、面接点が高い方を上位とします。
・なお、学校長からの推薦書、志望の理由及び調査書は選抜の基礎資料とします。

【Ⅱ型】

- (1) 選抜方法
大学入学共通テストを課し、学校長からの推薦書、志望の理由、調査書及び面接によります。(別表参照)
(志望の理由…本学教養学部を志望する理由を「高等学校であなたがどのように学んできたか」と「教養学部で学んでいる自分をどのようにイメージするか」に触れながら書きなさい。面接の際の資料とする。(1200字以内))
- (2) 面接の形式、採点・評価基準
・面接は日本語で行います。
・形式は個人面接を基本としますが、志願者数により集団面接とする場合もあります。
・複数の面接員で実施します。
・グループディスカッションは行いません。
・面接の採点・評価基準
在学中の学習成果や本学部での勉学意欲などを総合的に評価します。
- (3) 可否判定基準
・面接及び大学入学共通テストの総合点順に可否を決定します。
・総合点が同点の場合は、大学入学共通テストの点数が高い方を上位とします。
・なお、学校長からの推薦書、志望の理由及び調査書は選抜の基礎資料とします。

【Ⅰ型】別表

教科・科目等	配点
小論文	100
面接	100
合計	200

【Ⅱ型】別表

【共通】			教科・科目等		配点	
大学入学共通テスト	国語	『国語』	必須		200	
	地理歴史及び公民	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から選択) (※)『地理総合／歴史総合／公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注4)		200	3教科のうち、高得点の1教科を採用します。
	数学	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須		200	
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(注3)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。		200 (注5)	
	外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択		200	
面接					300	
					合計	900

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和8年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で英語を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
- (注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注4) 地歴及び公民で2科目選択する場合、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。
・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ
- (注5) 理科1科目は「100点×2=200点」に換算します。

選抜日程	
【Ⅰ型】令和7年11月15日(土) 小論文 9:30～11:00(90分) 面接 12:00～ 実施場所:埼玉大学教養学部	【Ⅱ型】令和7年11月16日(日) 面接 10:00～ 実施場所:埼玉大学教養学部

大学入学共通テスト成績請求チケットの提出(Ⅱ型対象)
大学入学共通テスト出願サイトから成績請求チケットの発行が可能となりました。①「国公立推薦型選抜用」の成績請求チケットを発行し、②大学のインターネット出願サイトで成績請求番号を登録し、③印刷した「成績請求チケット貼付用紙」に成績請求チケットを貼って、令和7年12月19日(金)までに郵送により提出してください。【提出先】〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課

出願手続	
出願方法	49頁「12 インターネット出願について」により、手続を行ってください。インターネットによる出願登録後、入学検定料を支払い、提出書類を郵送することにより、出願手続が完了します。
出願期間	令和7年11月4日(火)～11月7日(金) 期間内郵送必着とします(※大学持参不可)。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月28日(火)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月10日(月)正午までに到着した提出書類のうち、11月6日(木)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。)
提出書類等	入学志願票 1 志願者登録 インターネット出願サイト(https://e-apply.jp/ds/saitama-n/)又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真をアップロードしてください。 2 入学検定料の支払い 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料は、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、ペイジー対応銀行ATM、のいずれかで支払うことができます。 入学検定料 17,000円 ※検定料の免除については、47頁を参照してください。 3 出願書類の印刷と郵送 入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	推薦書 出身学校長が作成し厳封したもの。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	志望の理由 本人が記載してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	調査書 出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のもののまで記載されたもの。
	書類提出先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学教養学部係

出願にあたっての注意事項

- 1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。)
- 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - (1) 検定料の返還請求ができるもの
 - ア 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
 - イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - ウ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
 - (2) 返還請求の方法
本学ホームページの入試情報ページ(「入試情報」→「入試に関するその他の情報はこちら」→「検定料等の返還について」)
より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ、必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。

【返還請求書】<https://www.saitama-u.ac.jp/media/henkanseikyu.pdf>

送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)
- 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、52頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、出願した学部の学部係まで連絡してください。
- 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

教育学部

各募集単位の募集人員				
募集単位			募集人員	
			全国枠	地域枠
学校教育教員養成課程	学校教育コース	教育学専修	3	－
		臨床教育実践学専修	6	4
		心理発達支援専修	4	2
		乳幼児教育専修	3	－
		特別支援教育専修	2	2
	教科教育コース	国語専修	2	2
		社会専修	8	2
		算数・数学専修	4	1
		理科専修	3	2
		音楽専修	5	－
		図画工作・美術専修	3	1
		技術・情報専修	1	－
		家庭科専修	5	－
		保健体育専修	5	2
	英語専修	4	－	
養護教諭養成課程		5	－	

※「全国枠」、「地域枠と全国枠の併願」のいずれかで出願してください。併願できるのは同一募集単位の地域枠と全国枠となります。

埼玉大学教育学部は、埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会と連携して研究や活動を行い、地域の教育の充実・発展を図るとともに、地域の幼・小・中・高・特別支援学校の教員を養成する中心的役割を担うことを目標としています。
地域枠入試は、こうした目標の実現に向けて、埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会との連携をいっそう推し進め、地域の教育に貢献したいという強い使命感を持った学生を選抜し、その学生の意欲を支援するために行うものです。

推薦要件

1 学校推薦型選抜の対象となる学校及び推薦数

全国の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。)
ただし、地域枠への出願は埼玉県内の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校を含む。出願校の資格は、文部科学省が「都道府県番号」11(埼玉県)に定めるものに限る。)のみとします。
推薦できる者の数は、募集する課程・専修ごとに1校につき2名以内とします。なお、地域枠と全国枠を併願する者は1名として数えます。

2 推薦対象者

次の各条件を全て満たす者とします。

- (1) 教職に就くことを強く希望している者
地域枠の推薦対象者は、「将来、埼玉県下の小学校教員・特別支援学校教員として教職に就くことを強く希望する者」
- (2) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者
- (3) 令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者
ただし、学校教育教員養成課程教科教育コース音楽専修、図画工作・美術専修（地域枠を除く）、家庭科専修においては、令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (4) 合格した場合に入学を確約できる者

<出願上の留意事項>

- (1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出てください。
- (2) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
- (3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。
- (4) 通信制高校在籍者が、学校推薦型選抜地域枠を出願する場合は、在籍する高校の法人本部(法人本部がない場合は本校)が埼玉県内に所在し、かつ出願者の居住地(出願時点)が埼玉県内の者に限ります。

選抜方法 ※大学入学共通テストを課す専修については、必要科目を受験してください。受験しない場合は失格となります。								
課程・コース・専修		全国枠	地域枠	共通テスト	小論文	面接	実技	選抜方法
学校 教育 教員 養成 課程	学校教育コース							
	教育学専修	○	－	－	○	○	－	大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由、小論文及び面接によります。 ※「志望の理由」は、教育への関心・問題意識及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて記述してください。
	臨床教育実践学専修	○	○	別表2	－	○	－	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入学共通テスト[科目については別表2]によります。 ※面接は、教育実践学に関する口頭試問を含みます。
	心理発達支援専修	○	○	別表1	－	○	－	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入学共通テスト[科目については別表1]によります。 ※面接は、心理学に関する口頭試問を含みます。
	乳幼児教育専修	○	－	－	○	○	－	大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、小論文及び面接によります。
	特別支援教育専修	○	○	別表1	○	○	－	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、小論文、面接及び大学入学共通テスト[科目については別表1]によります。
	教科教育コース							
	国語専修	○	○	－	○	○	－	大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、小論文及び面接によります。
	社会専修	○	○	別表1	－	○	－	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入学共通テスト[科目については別表1]によります。 ※面接は、社会科に関する口頭試問を含みます。
	算数・数学専修	○	○	別表3	－	○	－	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入学共通テスト[科目については別表3]によります。 ※面接は、算数・数学に関する口頭試問を含みます。
	理科専修	○	○	別表4	－	○	－	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入学共通テスト[科目については別表4]によります。 ※面接は、理科に関する口頭試問を含みます。
	音楽専修	○	－	－	－	○	○	大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、面接及び実技検査によります。 実技検査は26頁を参照のこと。 ※面接は、音楽・音楽教育に関する口頭試問を含みます。
	図画工作・美術専修	○	○	－	－	○	○	大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、高等学校卒業後の経歴書(既卒者のみ)、面接及び実技検査によります。 【実技検査科目】 水彩画 【面接】 面接にあたって、制作した代表作品1点と、作品ファイル1冊(※)を持参してください(大型作品で持参することが不可能な場合は、写真でも構いません)。 ※作品ファイル＝入学志願者本人が制作した作品の写真・スケッチ等のファイル
	技術・情報専修	○	－	別表5	－	○	－	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入学共通テスト[科目については別表5]によります。 ※面接は、技術及び情報に関する口頭試問を含みます。

課程・コース・専修			全国枠	地域枠	共通テスト	小論文	面接	実技	選抜方法
		家庭科専修	○	－	－	○	○	－	大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、小論文及び面接によります。 ※面接は、家庭科に関する口頭試問を含みます。
		保健体育専修	○	○	－	○	○	○	大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、スポーツ活動に関する調査書、小論文、面接及び実技検査によります。 実技検査は26頁を参照のこと。
		英語専修	○	－	別表1	－	○	－	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入学共通テスト[科目については別表1]によります。 ※面接は、英語に関する口頭試問を含みます。
養護教諭養成課程			○	－	別表1	○	○	－	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、小論文、面接及び大学入学共通テスト[科目については別表1]によります。 ※面接は、保健に関する口頭試問を含みます。 ※2段階の選抜を実施します。 第1次選抜は、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、小論文及び面接により選抜し、募集人員と同数を第1次選抜合格者としします。 第2次選抜は、第1次選抜の合格者に対して、大学入学共通テスト[科目については別表1]の成績により選抜し、合計の得点率が60%以上を満たした者のみを最終合格者としします。 第1次選抜合格者発表 令和7年12月2日(火) 14:00 教育学部ホームページで発表します。 https://www.saitama-u.ac.jp/edu/ ※電話による可否結果の問い合わせには一切応じません。

(注1)「志望の理由」は、該当する課程・コース・専修等に関する志望の理由及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて【志望の理由①】(本学ホームページ掲載の様式)に記述してください。

また、地域枠と全国枠の併願者は、上記の「志望の理由」に加え、「埼玉県下の教員になるために埼玉大学教育学部を志望する理由」について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて【志望の理由②】(本学ホームページ掲載の様式)に記述してください。

(注2)地域枠と全国枠の併願者に対しては、地域枠・全国枠共通の面接終了後、引き続き地域枠の面接を実施します。

別表1

大学入学共通テスト			
教科科目名等		利用方法	配点
国語	『国語』	必須	200
地理歴史及び公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』(注2)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	100
数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目の中から1科目選択(注3)	100
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(注2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	100
外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	200 (注1)
〔5教科5科目〕			700

(注1) 外国語で英語を選択した場合、
「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。

リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。

(注2) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(注3)「数学」から2科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用します。

別表2 臨床教育実践学専修のみ

大学入学共通テスト			
教科科目名等		利用方法	配点
国語	『国語』	必須	200
地理歴史 及び 公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注2)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	100
数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目の中から1科目選択(注3)	100
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(注2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	100
外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	200 (注1)
情報	『情報Ⅰ』	必須	50
〔6教科6科目〕			750

(注1) 外国語で英語を選択した場合、

「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。

リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。

(注2) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(注3) 「数学」から2科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用します。

別表3 算数・数学専修のみ

大学入学共通テスト			
教科科目名等		利用方法	配点
国語	『国語』	必須	200
地理歴史 及び 公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注2)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	100
数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	200
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(注2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注3)	200
外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	200 (注1)
情報	『情報Ⅰ』	必須	50
〔6教科8科目〕			950

(注1) 外国語で英語を選択した場合、

「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。

リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。

(注2) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(注3) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』の中から1科目選択する場合、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』で選択した出題範囲と同一名称を付した科目(例:『物理基礎』と『物理』など)を選択できます。

別表4 理科専修のみ

大学入学共通テスト			
教科科目名等		利用方法	配点
国語	『国語』	必須	200
地理歴史 及び 公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注2)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	100
数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	200
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(注2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注3)	200
外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	200 (注1)
〔5教科7科目〕			900

- (注1) 外国語で英語を選択した場合、
「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
- (注2) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注3) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』の中から1科目選択する場合、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』で選択した出題範囲と同一名称を付した科目(例:「物理基礎」と『物理』など)を選択できます。

別表5 技術・情報専修のみ

大学入学共通テスト			
教科科目名等		利用方法	配点
国語	『国語』	必須	100
地理歴史 及び 公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注2)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	100
数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目の中から1科目選択(注3)	100
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(注2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	100
外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	50 (注1)
情報	『情報Ⅰ』	必須	50
〔6教科6科目〕			500

- (注1) 外国語で英語を選択した場合、
「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4」×0.25=50点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×0.5=50点」に換算します。
- (注2) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注3) 「数学」から2科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用します。

実技検査

音楽実技（教育学部教科教育コース音楽専修）

次の(A)、(B)を全員が受験します。「音楽実技検査に関する調書」を出願書類とともに提出してください。

(A) 次のイとロの両方を受験します。

イ 次の2曲の中から任意の1曲を選び、ピアノ伴奏つき楽譜(例えば市販されている楽譜、自作の伴奏をつけた手書きの楽譜など)を用いて、自分でピアノ伴奏を弾きながら歌います。楽譜を見てもよいです。調は自由とします。

- ・とんび(とべとべ とんび …)(葛原しげる作詞・梁田貞作曲)1番のみ
- ・ふるさと(うさぎ おいし …)(文部省唱歌 高野辰之作詞・岡野貞一作曲)1番のみ

〔注〕

当日に用いる伴奏つき楽譜(手書きでも可)を、出願書類とともに提出してください。提出の際、1頁がA4縦のサイズとし、製本しないでください。提出された楽譜は返却しません。

ロ 「ハノンピアノ教則本」のNo.39より、検査当日指定される、同一調号の長調と短調の音階を暗譜で演奏します。調号が $\sharp$ 3つまで、 $\flat$ 3つまでの調が指定されます。繰り返しは省略し、短調は、和声的短音階の後、続けて旋律的短音階を弾き、カデンツ(終止形)をつけてください。速度は $\text{♩}=60$ 以上とします。

(B) 次の1または2のどちらか1つを選択して受験します。

1 声楽

5分以上10分程度までの任意の独唱曲を原語・暗譜で歌います。曲数は問いません。オペラ、オラトリオの曲は原調とします。

2 器楽

次の楽器の中から1つを選び、**5分以上10分程度までの任意の独奏曲**を演奏します。曲数は問いません。ピアノは暗譜とします。

ピアノ、フルート、リコーダー、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

〔注〕

- ① 上記の1、2とも、伴奏者の有無は自由とします。伴奏者は本学では用意しません。伴奏を必要とする場合は、受験者各自で用意してください。伴奏者を同伴する場合は、本学在学学生及び教職員は除いてください。伴奏音源を使用することも可能です。その場合は、伴奏音源を録音したメディアを出願書類とともに提出してください。ファイル形式はWAV、MP3、WMA、MP4/M4Aのいずれかとし、CD、DVD、Blu-rayのディスクに書き込むか、USBメモリに入れ、受験者の氏名を記入してください。音源の再生機器は担当者が操作します。
- ② 上記の1、2とも、演奏する曲の楽譜を出願書類とともに提出してください。提出の際、1頁をA4縦のサイズとし、製本しないでください。提出された楽譜は返却しません。
- ③ ピアノ以外の楽器は、受験者各自が持参してください。
- ④ 上記の1、2とも、繰り返しは省略としますが、ダ・カーポは行ってください。
- ⑤ 複数曲を提出した場合は、「音楽実技検査に関する調書」に記入した曲順通りに演奏してください。なお、調書に記入された中から、演奏する部分を指定することがあります。
- ⑥ 5分以内であっても演奏を途中で打ち切ることがあります。
- ⑦ 音楽実技に関する調書「予定する伴奏の形態」欄の該当するものを○で囲んでください。

体育実技（教育学部教科教育コース保健体育専修）

次の種目から1種目選択し、受験します。

種目	内容
陸上競技	100m走、400m走、1500m走、100mハードル、110mハードル、走り幅跳び、三段跳び、砲丸投げ、円盤投げの中から1つについて評価します。 100m走は、土のグラウンド(使用できない場合ゴムシート上)でスターティングブロックから疾走します。400m走は、土のグラウンド(使用できない場合100mゴムシート上を折り返し走)でスターティングブロックから疾走します。1500m走は、土のグラウンドで400mトラックを3周と3/4周します。100mハードルは女子、110mハードルは男子とします。 走り幅跳び・三段跳びは、ゴムシートの助走路から、実測距離を測定します。 砲丸投げは、高校用砲丸(男子6kg、女子4kg)を、円盤投げは、高校用円盤(男子1.75kg、女子1kg)を投てきします。 なお、専用シューズやスパイクを使用して構いません。また、荒天の場合、屋内において異なる内容に変更することがありますが、選択内容に近い距離や検査内容とします。
バレーボール	・2人組のパス ・レセプション(サーブレシーブ) ・スパイク ・ポジション別の課題 ・4人対4人のゲーム (人数によっては、やり方を変えることがあります)
バスケットボール	・バスケットボールの個人技能を評価します(ディフェンスがいない状態で自分の得意なシュートをいくつか行います)。 ・パス&ランを基本としたハーフコートの3対3を行います。 ・パス&ランを基本としたオールコートのゲームを行います。 (人数によっては、やり方を変えることがあります)
サッカー	・個人技能:ボールコントロール、パス&コントロールを行います。 ・個人戦術:クロスボールに対するシュートとボールクリアランスを行います。 ・グループ戦術:「3対3」の攻防を1つのゴール(GK有)で行います。 ・チーム戦術:「5対5」以上の人数でゲーム形式を行います。 (人数によっては、やり方を変えることがあります)
創作ダンス	「創作ダンス作品の演技(3分以内)」。 作品のタイトル・テーマは自由。音楽(CDに限ります)を持参して使用してもよいです(プレーヤーは大学で用意します)。衣装は自由(スカートをはく、上着を着るなど簡単な衣装をつけてもよいです)。創作ダンスに必要なダンステクニックの習熟度と作品を表現する力を評価します。

配点										
募集単位				小論文	面接	面接 (地域枠)	実技検査	スポーツ 活動に関 する調査	大学入学 共通テスト	計
学校教育教員養成課程	学校教育コース	教育学専修	全国枠	200	500		—	—	—	700
		臨床教育実践学専修	全国枠	—	700	—	—	—	750	1450
			地域枠			400	—	—		1850
		心理発達支援専修	全国枠	—	700	—	—	—	700	1400
			地域枠			400	—	—		1800
		乳幼児教育専修	全国枠	350	350	—	—	—	—	700
		特別支援教育専修	全国枠	400	300	—	—	—	700	1400
			地域枠			150	—	—		1550
	教科教育コース	国語専修	全国枠	350	350	—	—	—	—	700
			地域枠			150	—	—	—	850
		社会専修	全国枠	—	700	—	—	—	700	1400
			地域枠			400				—
		算数・数学専修	全国枠	—	500	—	—	—	950	1450
			地域枠			250				—
		理科専修	全国枠	—	900	—	—	—	900	1800
			地域枠			450				—
		音楽専修	全国枠	—	150	—	550	—	—	700
		図画工作・美術専修	全国枠	—	350	—	350	—	—	700
			地域枠			150		—		850
		技術・情報専修	全国枠	—	900	—	—	—	500	1400
		家庭科専修	全国枠	350	350	—	—	—	—	700
		保健体育専修	全国枠	100	100	—	500		—	700
			地域枠			50				750
		英語専修	全国枠	—	700	—	—	—	700	1400
養護教諭養成課程			全国枠	(第1次選抜)	350	350	—	—	—	700
				(第2次選抜)	—	—	—	—	—	700

面接の形式、採点・評価基準			
募集単位			面接形式等
学校教育教員養成課程	学校教育コース	教育学専修	個人面接 教育に関する問題意識や志望動機などについて、面接員からの質問に論理的に 応答できるかなどを評価します。
		臨床教育実践学専修	集団面接 将来、教育にかかわる仕事をする意欲、教育実践学への関心などを総合的に評 価します。
		心理発達支援専修	集団面接 将来、教育にかかわる仕事をする意欲、心理学への関心などを総合的に評価し ます。
		乳幼児教育専修	集団面接(集団討論を含みます。) 乳幼児教育・保育に対する適性、表現力、思考力、教職・保育職への意欲を総合 的に評価します。
		特別支援教育専修	個人面接 特別支援教育に関する知識・関心、教職への意欲、思考力、表現力、コミュニケー ション能力を総合的に評価します。
	教科教育コース	国語専修	個人面接 面接員が受験生に質問するだけでなく、その場で題を与え、短いスピーチをして もらいます。国語及び国語教育への関心、将来、教育にかかわる仕事をする意 欲、又は言語能力などを、複数の面接員が採点・評価します。
		社会専修	個人面接 社会科に関する興味・関心、論理的な陳述、知識の正確さなどを総合的に評価し ます。
		算数・数学専修	個人面接 口頭による質問等により、数学及び算数・数学教育に対する関心、意欲、知識を 総合的に評価します。
		理科専修	個人面接 理科及び理科教育に対する関心、意欲、知識と、卒業後に小学校教員や理科教 員になる意欲などを総合的に評価します。
		音楽専修	個人面接 学習と教職への意欲、音楽に関する知識・関心を総合的に評価します。各受験生 の実技検査終了後、その場でただちに行います。
		図画工作・美術専修	個人面接 学習意欲、学究的態度、芸術及び創造への関心を総合的に評価します。
		技術・情報専修	個人面接 技術及び情報についての関心、教職への意欲、思考力、コミュニケーション能力 を総合的に評価します。
		家庭科専修	個人面接 家庭科及び家庭科教育に対する関心・意欲、自己表現力、理解力、考察力を総合 的に評価します。
		保健体育専修	【全国枠】 口頭による質問及びグループ討議により、保健体育・スポーツについての知識・ 理解、思考力、コミュニケーション能力や教職への意欲等を、複数の面接員が採 点・評価します。 【地域枠】 口頭による質問及びグループ討議により、保健体育・スポーツについての知識・ 理解、思考力、コミュニケーション能力や埼玉県下の教員として教職に就く意欲 等を、複数の面接員が採点・評価します。
	英語専修	個人面接 英語及び英語教育への関心、学習意欲、表現力、理解力等を総合的に評価しま す。	
養護教諭養成課程			個人面接及び集団面接(集団討論を含みます。) 保健についての知識・理解、思考力、判断力、コミュニケーション能力、教職への 意欲等を総合的に評価します。

小論文の出題意図、採点・評価基準			
募集単位			出題意図等
学校教育教員養成課程	学校教育コース	教育学専修	教育に関する関心、基礎的・総合的な思考力をみます。 出題内容の理解、論理的思考、記述力を評価します。
		乳幼児教育専修	乳幼児教育・保育に関する理解、思考力及び表現力をみます。 出題内容の理解と文章表現能力、論理構成能力を総合的に評価します。
		特別支援教育専修	特別支援教育を学んでいく上で必要な基礎的・総合的な学力と創造的な思考力を問う問題を出题します。 論理的考察力、理解力、記述力を総合的に評価します。
	教科教育コース	国語専修	国語に関する関心、思考力及び表現力をみます。 国語及び国語教育にかかわるテーマについて小論文を課します。 テーマを正確に理解した上で、考察を進めているか、論理的に結論を導き出しているか、等の観点から、複数の試験官が採点・評価します。
		家庭科専修	家庭科教育を学んでいく上で必要な総合的思考力をみます。 出題内容の理解、論理的考察力、文章表現力を総合的に評価します。
		保健体育専修	保健体育を学んでいく上で必要な総合的思考力をみます。 保健体育・スポーツに関する知識・理解及び記述力、論理的考察力を総合的に評価します。
養護教諭養成課程			保健に関する基礎的・総合的な学力を問う問題を出题します。 保健に関する知識・理解、論理的考察力、記述力を総合的に評価します。

実技検査の採点・評価基準			
募集単位			採点・評価基準
学校教育教員養成課程	教科教育コース	音楽専修	演奏技術、音楽性、表現力、曲の解釈などを総合的に評価します。
		図画工作・美術専修	意欲、表現力、素描力、色彩感覚を総合的に評価します。
		保健体育専修	選択した実技検査項目の各課題の達成度及び資質を評価します。

スポーツ活動に関する調書の採点・評価基準			
募集単位			採点・評価基準
学 校 養 成 教 育 課 程 教 員	教科教育コース	保健体育専修	高等学校在学中3年間のスポーツに関する活動について、大会及びコンクール等の成績などを評価します。

合否判定基準	
(1) 各募集単位等(養護教諭養成課程を除く)で指定した試験(小論文、面接、実技検査、大学入学共通テスト)及びスポーツ活動に関する調書(教科教育コース保健体育専修)の成績の総合点順に合否を決定します。 総合点が同点の場合は、同順位とします。 なお、学校長からの推薦書及び調査書は選抜の基礎資料とします。	
(2) 養護教諭養成課程において、第1次選抜は、小論文と面接の成績の総合点順に合否を決定します。 総合点が同点の場合は、同順位とします。 なお、学校長からの推薦書及び調査書は選抜の基礎資料とします。 第2次選抜は、大学入学共通テストの満点(700点)の60%(420点)以上の者を合格とします。	
(3) 教科教育コース音楽専修において、実技検査の満点(550点)の60%(330点)に達しない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。	
(4) 教科教育コース保健体育専修において、実技検査(「スポーツ活動に関する調書」を含む)の満点(500点)の50%(250点)に達しない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。 また、教科教育コース保健体育専修において、面接の満点(100点、地域枠50点)の20%(20点、地域枠10点)に達しない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。	
(5) 「志望の理由」の取扱い 志望理由の明確さを判断するための参考資料、又は、面接のための参考資料とします。	
(6) 「高等学校卒業後の経歴書」の取扱い 教科教育コース図画工作・美術専修において、面接のための参考資料とします。	
※地域枠と全国枠を併願し、地域枠で合格した者は、全国枠の合否対象から除外します。	

選抜日程 ※面接は、下記の時間に地域枠の面接も含めて実施します。				
募集単位			11月15日(土)	11月16日(日)
学校教育教員養成課程	学校教育コース	教育学専修	小論文 9:30～11:00 面接 12:00～	面接 9:00～
		臨床教育実践学専修	—	面接 9:00～
		心理発達支援専修	—	面接 9:00～
		乳幼児教育専修	小論文 9:30～11:00 面接 13:00～	面接 9:00～
		特別支援教育専修	小論文 9:30～11:00 面接 13:00～	—
	教科教育コース	国語専修	小論文 9:30～11:00 面接 13:00～	—
		社会専修	面接 9:00～	—
		算数・数学専修	面接 9:00～	面接 9:00～
		理科専修	面接 9:00～	—
		音楽専修	実技検査及び面接 9:00～	—
		図画工作・美術専修	—	実技検査 9:00～12:00 面接 13:00～
		技術・情報専修	面接 9:00～	—
		家庭科専修	小論文 9:30～11:00 面接 13:00～	—
		保健体育専修	小論文 9:30～11:00 面接 13:00～	実技検査 9:00～
		英語専修	—	面接 13:00～
	養護教諭養成課程		小論文 9:30～11:00 面接 13:00～	—

実施場所:埼玉大学教育学部
(注)選考は上記のとおり予定していますが、志願者数により1日で実施することがあります。
なお、実施期日、試験時間等の詳細は、受験票配信の際に通知します。

大学入学共通テスト成績請求チケットの提出		
大学入学共通テスト出願サイトから成績請求チケットの発行が可能となりました。①「国公立推薦型選抜用」の成績請求チケットを発行し、②本学のインターネット出願サイトで成績請求番号を登録し、③印刷した「成績請求チケット貼付用紙」に成績請求チケットを貼って、令和7年12月19日(金)までに郵送により提出してください。【提出先】〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課		
出願手続		
出願方法	49頁「12 インターネット出願について」により、手続を行ってください。インターネットによる出願登録後、入学検定料を支払い、提出書類を郵送することにより、出願手続が完了します。 出願登録の際には「全国枠」と「地域枠と全国枠の併願」のどちらかを選択してください。	
出願期間	令和7年11月4日(火)～11月7日(金) 期間内郵送必着とします(※大学持参不可)。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月28日(火)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月10日(月)正午までに到着した提出書類のうち、11月6日(木)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。)	
提出書類等	入学志願票	1 志願者登録 インターネット出願サイト(https://e-apply.jp/ds/saitama-n/)又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真をアップロードしてください。 2 入学検定料の支払い 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料は、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、マイジー対応銀行ATM、のいずれかで支払うことができます。 入学検定料 17,000円 ※検定料の免除については、47頁を参照してください。 3 出願書類の印刷と郵送 入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	推薦書	出身学校長が作成し厳封したもの。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	志望の理由	学校教育教員養成課程において「志望の理由」の提出を求める募集単位(22～25頁「選抜方法」の項を参照のこと)、養護教諭養成課程の志願者は提出してください。全国枠出願者は「志望の理由①」を、地域枠と全国枠の併願者は「志望の理由①」及び「志望の理由②」を提出してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	調査書	出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のもののまで記載されたもの。
	音楽実技検査に関する調書	学校教育教員養成課程教科教育コース音楽専修の志願者に限り提出してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	音楽実技で用いる楽譜	学校教育教員養成課程教科教育コース音楽専修の志願者に限り提出してください。(提出形式等は26頁参照のこと。)
	スポーツ活動に関する調書	学校教育教員養成課程教科教育コース保健体育専修の志願者に限り提出してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	高等学校卒業後の経歴書	学校教育教員養成課程教科教育コース図画工作・美術専修の志望者のうち、既卒者に限り提出してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学教育学部係	
出願にあたっての注意事項		
1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。 到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。) 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (1) 検定料の返還請求ができるもの ア 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合 イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合 ウ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合 (2) 返還請求の方法 本学ホームページの入試情報ページ(「入試情報」→「入試に関するその他の情報はこちら」→「検定料等の返還について」)より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ、必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。 【返還請求書】 https://www.saitama-u.ac.jp/media/henkanseikyu.pdf 送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当 (返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。) 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、52頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、出願した学部・学部の学係まで連絡してください。 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。		

理学部

基礎化学科 募集人員:5名

推薦要件
1 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数 全国の国公私立高等学校(中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じです。) 推薦できる者の数は、1校につき2名以内とします。
2 推薦対象者 次の各条件を全て満たす者とします。 (1) 令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 高等学校において化学(又は相当する科目 ※ただし、「化学基礎」は含みません。)及び物理(又は相当する科目 ※ただし、「物理基礎」は含みません。)を既修又は出願時に履修中の者 (3) 化学に対する興味と強い学習意欲を持ち、合格した場合に入学を確約できる者
<出願上の留意事項> (1) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。 (2) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

選抜方法
(1)選抜方法 学校長からの推薦書、志望の理由、調査書、面接(理科(化学・物理)及び数学に関する口頭試問を含みます)及び大学入学共通テストによります。(別表参照)
【志望の理由】 なぜ埼玉大学の理学部基礎化学科を志望するかについて明確に書いてください。加えて、これまでの理科に関する研究や勉学の活動の具体例を挙げつつ、化学についての興味・関心・学習意欲について自己アピールしてください。研究や勉学の活動とは、学校や課外活動での理科実験やレポート作成、科学系の部活動、グループ又は個人の自由研究や課題研究、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)における研究などを含みます。「志望の理由」は面接の際の資料とします。
(2)面接の形式、採点・評価基準 ・面接は日本語で行い、理科(化学、物理)及び数学に関する口頭試問を含みます。 ・形式は個人面接とします。複数の面接員で実施します。なお、グループディスカッションは行いません。 ・面接の採点・評価基準:学士課程で自らが志す専門分野を学ぶにあたっての意欲及び好奇心、学修に取り組む態度、表現力並びにコミュニケーション能力を評価します。
(3)合否判定基準 大学入学共通テスト及び面接の総合点により順位を付け合否を決定します。 総合点が同点の場合は、同順位とします。 なお、学校長からの推薦書、志望の理由及び調査書は基礎資料とします。

別表

教科科目名等				配点
大学入学共通テスト	数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	200
	理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	『化学』必須	100
			『物理』、『生物』、『地学』の中から1科目選択	100
	外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』	必須	200 (注1)
面接				600
(注1)外国語(英語)は、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。 リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。				合計 1200

選抜日程
令和7年11月15日(土) 面接 13:00 ~ 実施場所:埼玉大学理学部

大学入学共通テスト成績請求チケットの提出

大学入学共通テスト出願サイトから成績請求チケットの発行が可能となりました。①「国公立推薦型選抜用」の成績請求チケットを発行し、②本学のインターネット出願サイトで成績請求番号を登録し、③印刷した「成績請求チケット貼付用紙」に成績請求チケットを貼って、令和7年12月19日(金)までに郵送により提出してください。【提出先】〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課

出願手続

出願方法	49頁「12 インターネット出願について」により、手続を行ってください。インターネットによる出願登録後、入学検定料を支払い、提出書類を郵送することにより、出願手続が完了します。	
出願期間	令和7年11月4日(火)～11月7日(金) 期間内郵送必着とします(※大学持参不可)。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月28日(火)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月10日(月)正午までに到着した提出書類のうち、11月6日(木)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。)	
提出書類等	入学志願票	1 志願者登録 インターネット出願サイト(https://e-apply.jp/ds/saitama-n/)又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真をアップロードしてください。 2 入学検定料の支払い 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料は、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、ペイジー対応銀行ATM、のいずれかで支払うことができます。 入学検定料 17,000円 ※検定料の免除については、47頁を参照してください。 3 出願書類の印刷と郵送 入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	推薦書	出身学校長が作成し厳封したもの。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	志望の理由	本人が記載してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	調査書	出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のもののまで記載されたもの。
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学理学部係	

出願にあたっての注意事項

- 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。)
- 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - 検定料の返還請求ができるもの
 - 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
 - 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
 - 返還請求の方法
本学ホームページの入試情報ページ(「入試情報」→「入試に関するその他の情報はこちら」→「検定料等の返還について」)
より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ、必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。
【返還請求書】<https://www.saitama-u.ac.jp/media/henkanseikyu.pdf>
送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)
- インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、52頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、出願した学部の学部係まで連絡してください。
- 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

分子生物学科 募集人員:5名

推薦要件	
1 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数	全国の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じです。) 推薦できる者の数は、1校につき2名以内とします。
2 推薦対象者	次の各条件を全て満たす者とします。 (1) 令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 高等学校において生物(又は相当する科目 ※ただし、「生物基礎」は含みません。)、化学(又は相当する科目 ※ただし、「化学基礎」は含みません。)、物理(又は相当する科目 ※ただし、「物理基礎」は含みません。)のうち2科目を既修又は出願時に履修中の者 (3) 生物や化学に対する興味と強い学習意欲を持ち、合格した場合に入学を確約できる者
<出願上の留意事項>	
(1)	国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
(2)	学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

選抜方法	
(1)選抜方法	学校長からの推薦書、志望の理由、調査書、面接及び大学入学共通テストによります。(別表参照)
【志望の理由】	なぜ埼玉大学の理学部分子生物学科を志望するかについて明確に書いてください。加えて、これまでの理科に関する研究や勉学の活動の具体例を挙げつつ、生物や化学についての興味・関心・学習意欲について自己アピールしてください。研究や勉学の活動とは、学校や課外活動での理科実験やレポート作成、科学系の部活動、グループ又は個人の自由研究や課題研究、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)における研究などを含みます。「志望の理由」は面接の際の資料とします。
(2)面接の形式、採点・評価基準	・面接は日本語で行い、理科(生物、化学)及び数学に関する口頭試問を含みます。 ・形式は個人面接とします。複数の面接員で実施します。なお、グループディスカッションは行いません。 ・面接の採点・評価基準:学士課程で自らが志す専門分野を学ぶにあたっての意欲及び好奇心、学修に取り組む態度、表現力並びにコミュニケーション能力を評価します。
(3)可否判定基準	大学入学共通テスト及び面接の総合点により順位を付け可否を決定します。 総合点が同点の場合は、同順位とします。 なお、学校長からの推薦書、志望の理由及び調査書は基礎資料とします。

別表

教科科目名等				配点
大学入学共通テスト	数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	200
	理科	『物理』、『化学』、『生物』	左の3科目の中から2科目選択	200
	外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』	必須	200 (注1)
面接				600
(注1)外国語(英語)は、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。 リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。				合計 1200

選抜日程	
令和7年11月15日(土)	
面接 13:00 ~	
実施場所:埼玉大学理学部	

大学入学共通テスト成績請求チケットの提出

大学入学共通テスト出願サイトから成績請求チケットの発行が可能となりました。①「国公立推薦型選抜用」の成績請求チケットを発行し、②本学のインターネット出願サイトで成績請求番号を登録し、③印刷した「成績請求チケット貼付用紙」に成績請求チケットを貼って、令和7年12月19日(金)までに郵送により提出してください。【提出先】〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課

出願手続

出願方法	49頁「12 インターネット出願について」により、手続を行ってください。インターネットによる出願登録後、入学検定料を支払い、提出書類を郵送することにより、出願手続が完了します。	
出願期間	令和7年11月4日(火)～11月7日(金) 期間内郵送必着とします(※大学持参不可)。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月28日(火)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月10日(月)正午までに到着した提出書類のうち、11月6日(木)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。)	
提出書類等	入学志願票	1 志願者登録 インターネット出願サイト(https://e-apply.jp/ds/saitama-n/)又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真をアップロードしてください。 2 入学検定料の支払い 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料は、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、ペイジー対応銀行ATM、のいずれかで支払うことができます。 入学検定料 17,000円 ※検定料の免除については、47頁を参照してください。 3 出願書類の印刷と郵送 入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	推薦書	出身学校長が作成し厳封したもの。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	志望の理由	本人が記載してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	調査書	出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のもののまで記載されたもの。
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学理学部係	

出願にあたっての注意事項

- 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。)
- 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - 検定料の返還請求ができるもの
 - 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
 - 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
 - 返還請求の方法
本学ホームページの入試情報ページ(「入試情報」→「入試に関するその他の情報はこちら」→「検定料等の返還について」)より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ、必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。
【返還請求書】<https://www.saitama-u.ac.jp/media/henkanseikyu.pdf>
送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)
- インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、52頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、出願した学部の学部係まで連絡してください。
- 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

工学部

埼玉大学は、ダイバーシティ推進拠点としての機能を強化するとともに、多様性と包摂性のあるキャンパスおよび地域社会の実現を目指しています。
 工学部女子枠入試は、本学の教育・研究環境における多様性を一層促進し、現代の様々な課題に対処するための能力を涵養することを目的として行うものです。女性研究者・技術者のロールモデルを増やすことで、理工系分野に関心を持つ優秀な女性の進学を後押しし、性別にかかわらず誰もが活躍できる社会の実現につながることを期待しています。

機械工学・システムデザイン学科（女子枠） 募集人員：7名

推薦要件
1 学校推薦型選抜(女子枠)の対象となる高等学校及び推薦数 全国の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じです。) 推薦できる者の数は、1校につき1名以内とします。
2 推薦対象者 次の各条件を全て満たす女子とします。 (1) 令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者 (2) 高等学校において数学(数学I、数学II、数学III、数学A、数学B、数学Cの内容を含む科目)及び物理の内容に対応する科目(ただし、「物理基礎」は含みません)を既修又は出願時に履修している者 (3) 調査書の学習成績概評がB以上で、理数系(物理、数学)及び英語の成績が優れている者 (4) 実験や課題研究等に興味を持ち、工学部機械工学・システムデザイン学科の学生として適性を有する者
<出願上の留意事項> (1) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。 (2) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

選抜方法
(1)選抜方法 学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、調査書、面接及び大学入学共通テストによります。(別表参照)
(2)面接の形式、採点・評価基準 ・面接は日本語で行います。 ・形式は個人面接を基本としますが、志願者数により集団面接(4～6人)とする場合があります。 ・複数の面接員で実施します。 ・グループディスカッションは行いません。 ・学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、及び調査書は、面接の評価対象とします。内容について、面接で質問することがあります。 ・面接の採点・評価基準：表現力、コミュニケーション能力、主体性、多様性を重視します。
(3)合否判定基準 大学入学共通テスト及び面接の総合点順により合否を決定します。 総合点が同点の場合は、同順位とします。

別表				
教科科目名等				配点
大学入学共通テスト	数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	200
	理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	『物理』必須	100
			『化学』、『生物』、『地学』の中から1科目選択	100
	外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』	必須	200 (注1)
面接				200
(注1)外国語(英語)は、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。 リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。				合計 800

選抜日程
令和7年11月15日(土) 面接 13:00 10:00～(9月18日修正) 実施場所:埼玉大学工学部

大学入学共通テスト成績請求チケットの提出
大学入学共通テスト出願サイトから成績請求チケットの発行が可能となりましたら、①「国公立推薦型選抜用」の成績請求チケットを発行し、②本学のインターネット出願サイトで成績請求番号を登録し、③印刷した「成績請求チケット貼付用紙」に成績請求チケットを貼って、令和7年12月19日(金)までに郵送により提出してください。【提出先】〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課

出願手続		
出願方法	49頁「12 インターネット出願について」により、手続を行ってください。インターネットによる出願登録後、入学検定料を支払い、提出書類を郵送することにより、出願手続が完了します。	
出願期間	令和7年11月4日(火)～11月7日(金) 期間内郵送必着とします(※大学持参不可)。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月28日(火)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月10日(月)正午までに到着した提出書類のうち、11月6日(木)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。)	
提出書類等	入学志願票	1 志願者登録 インターネット出願サイト(https://e-apply.jp/ds/saitama-n/)又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真をアップロードしてください。 2 入学検定料の支払い 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料は、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、ペイジー対応銀行ATM、のいずれかで支払うことができます。 入学検定料 17,000円 ※検定料の免除については、47頁を参照してください。 3 出願書類の印刷と郵送 入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	推薦書	出身学校長が作成し厳封したもの。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	志望の理由	本人が記載してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	自己アピール	本人が記載してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	調査書	出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のもののまで記載されたもの。
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学工学部係	

出願にあたっての注意事項
1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。 到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。) 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (1) 検定料の返還請求ができるもの ア 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合 イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合 ウ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合 (2) 返還請求の方法 本学ホームページの入試情報ページ(「入試情報」→「入試に関するその他の情報はこちら」→「検定料等の返還について」)より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ、必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。 【返還請求書】https://www.saitama-u.ac.jp/media/henkanseikyu.pdf 送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当 (返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。) 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、52頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、出願した学部・学部係まで連絡してください。 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

電気電子物理工学科（女子枠） 募集人員：7名

推薦要件

- 学校推薦型選抜（女子枠）の対象となる高等学校及び推薦数
全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じです。）
推薦できる者の数は、1校につき2名以内とします。
 - 推薦対象者
次の各条件を全て満たす女子とします。
 - 令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
 - 高等学校において数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cの内容を含む科目）及び物理の内容に対応する科目（ただし、「物理基礎」は含みません）を既修又は出願時に履修している者
 - 調査書の学習成績概評がB以上で、理数系（物理、数学）及び英語の成績が優れている者
 - 実験や課題研究等に興味を持ち、工学部電気電子物理工学科の学生として適性を有する者
- <出願上の留意事項>
- 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
 - 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

選抜方法

- 選抜方法
学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、調査書、面接及び大学入学共通テストによります。（別表参照）
- 面接の形式、採点・評価基準
 - 面接は日本語で行います。
 - 形式は個人面接を基本としますが、志願者数により集団面接（4～6人）とする場合があります。
 - 複数の面接員で実施します。
 - グループディスカッションは行いません。
 - 学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、及び調査書は、面接の評価対象とします。内容について、面接で質問することがあります。
 - 面接の採点・評価基準：表現力、コミュニケーション能力、主体性、多様性を重視します。
- 可否判定基準
大学入学共通テスト及び面接の総合点順により可否を決定します。
総合点が同点の場合は、同順位とします。

別表

教科科目名等				配点
大学入学共通テスト	数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	400 (注1)
	理科	『物理』	必須 (※)第1解答科目で解答する必要があります。	200 (注1)
	外国語	『英語（リーディング及びリスニング）』	必須	200 (注2)
面接				200
(注1)数学及び理科は1科目100点×2＝200点に換算します。 (注2)外国語(英語)は、「リーディング(100点)×1.6＋リスニング(100点)×0.4＝200点」に換算します。 リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2＝200点」に換算します。				合計 1000

選抜日程

令和7年11月15日（土）
面接 ~~13:00~~ 10:00～（9月18日修正）
実施場所：埼玉大学工学部

大学入学共通テスト成績請求チケットの提出

大学入学共通テスト出願サイトから成績請求チケットの発行が可能となりましたら、①「国公立推薦型選抜用」の成績請求チケットを発行し、②本学のインターネット出願サイトで成績請求番号を登録し、③印刷した「成績請求チケット貼付用紙」に成績請求チケットを貼って、令和7年12月19日（金）までに郵送により提出してください。【提出先】〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課

出願手続		
出願方法	49頁「12 インターネット出願について」により、手続きを行ってください。インターネットによる出願登録後、入学検定料を支払い、提出書類を郵送することにより、出願手続きが完了します。	
出願期間	令和7年11月4日(火)～11月7日(金) 期間内郵送必着とします(※大学持参不可)。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月28日(火)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月10日(月)正午までに到着した提出書類のうち、11月6日(木)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。)	
提出書類等	入学志願票	1 志願者登録 インターネット出願サイト(https://e-apply.jp/ds/saitama-n/)又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真をアップロードしてください。 2 入学検定料の支払い 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料は、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、ペイジー対応銀行ATM、のいずれかで支払うことができます。 入学検定料 17,000円 ※検定料の免除については、47頁を参照してください。 3 出願書類の印刷と郵送 入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	推薦書	出身学校長が作成し厳封したもの。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	志望の理由	本人が記載してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	自己アピール	本人が記載してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	調査書	出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のもののまで記載されたもの。
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学工学部係	

出願にあたっての注意事項
1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。 到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。) 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (1) 検定料の返還請求ができるもの ア 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合 イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合 ウ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合 (2) 返還請求の方法 本学ホームページの入試情報ページ(「入試情報」→「入試に関するその他の情報はこちら」→「検定料等の返還について」)より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ、必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。 【返還請求書】https://www.saitama-u.ac.jp/media/henkanseikyu.pdf 送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当 (返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。) 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、52頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、出願した学部の学部係まで連絡してください。 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

推薦要件	
1 学校推薦型選抜(女子枠)の対象となる高等学校及び推薦数	全国の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じです。) 推薦できる者の数は、1校につき2名以内とします。
2 推薦対象者	次の各条件を全て満たす女子とします。 (1) 令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者 (2) 高等学校における数学の学習成績の状況と理科の学習成績の状況を計算し、この2つを平均した値が4.0以上である者。 なお、数学には数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bの内容に対応する科目が含まれること。また、数学Ⅲ及び数学Cの内容に対応する科目を既修している場合は当該科目を含む学習成績の状況と含まない学習成績の状況を比較し、高い方の値を利用する。 (3) 高等学校において物理の内容に対応する科目(ただし、「物理基礎」は含みません。)を既修又は出願時に履修している者 (4) 高等学校において数学Ⅲ及び数学Cの内容に対応する科目を既修又は出願時に履修している者 (5) 調査書の学習成績概評がB以上の者 (6) 情報技術に興味を持ち、工学部情報工学科の学生として適性を有する者
<出願上の留意事項>	
(1)	国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
(2)	学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。
(3)	本学校推薦型選抜に推薦された志願者は、工学部情報工学科が実施する総合型選抜にも出願し、受験することができます。ただし、総合型選抜の合格者で入学手続をした場合は、学校推薦型選抜の合格者とはなりません。

選抜方法	
(1)選抜方法	学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、調査書、面接及び大学入学共通テストによります。(別表参照)
(2)面接の形式、採点・評価基準	・面接は日本語で行います。 ・形式は個人面接を基本としますが、志願者数により集団面接(4～6人)とする場合があります。 ・複数の面接員で実施します。 ・グループディスカッションは行いません。 ・学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、及び調査書は、面接の評価対象とします。内容について、面接で質問することがあります。 ・面接の採点・評価基準：表現力、コミュニケーション能力、主体性、多様性を重視します。
(3)合否判定基準	大学入学共通テスト及び面接の総合点順により合否を決定します。 総合点が同点の場合は、同順位とします。

別表

教科科目名等				配点
大学入学共通テスト	数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	400 (注1)
	情報	『情報Ⅰ』	必須	200 (注1)
	外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』	必須	200 (注2)
面接				200
(注1)数学及び情報は1科目100点×2＝200点に換算します。 (注2)外国語(英語)は、「リーディング(100点)×1.6＋リスニング(100点)×0.4＝200点」に換算します。 リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2＝200点」に換算します。				合計 1000

選抜日程	
令和7年11月15日(土) 面接 10:00～ 実施場所：埼玉大学工学部	

大学入学共通テスト成績請求チケットの提出	
大学入学共通テスト出願サイトから成績請求チケットの発行が可能となりましたら、①「国公立推薦型選抜用」の成績請求チケットを発行し、②本学のインターネット出願サイトで成績請求番号を登録し、③印刷した「成績請求チケット貼付用紙」に成績請求チケットを貼って、令和7年12月19日(金)までに郵送により提出してください。【提出先】〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課	

出願手続	
出願方法	49頁「12 インターネット出願について」により、手続を行ってください。インターネットによる出願登録後、入学検定料を支払い、提出書類を郵送することにより、出願手続が完了します。
出願期間	令和7年11月4日(火)～11月7日(金) 期間内郵送必着とします(※大学持参不可)。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月28日(火)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月10日(月)正午までに到着した提出書類のうち、11月6日(木)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。)
提出書類等	入学志願票 1 志願者登録 インターネット出願サイト(https://e-apply.jp/ds/saitama-n/)又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真をアップロードしてください。 2 入学検定料の支払い 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料は、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、バイジー対応銀行ATM、のいずれかで支払うことができます。 入学検定料 17,000円 ※検定料の免除については、47頁を参照してください。 3 出願書類の印刷と郵送 入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	推薦書 出身学校長が作成し厳封したもの。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	志望の理由 本人が記載してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	自己アピール 本人が記載してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	調査書 出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のもののまで記載されたもの。
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学工学部係

出願にあたっての注意事項
1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。 到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。) 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (1) 検定料の返還請求ができるもの ア 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合 イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合 ウ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合 (2) 返還請求の方法 本学ホームページの入試情報ページ(「入試情報」→「入試に関するその他の情報はこちら」→「検定料等の返還について」)より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ、必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。 【返還請求書】https://www.saitama-u.ac.jp/media/henkanseikyu.pdf 送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当 (返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。) 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、52頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、出願した学部の学部係まで連絡してください。 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

推薦要件

1 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数

全国の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じです。)
推薦できる者の数は、1校につき2名以内とします。

2 推薦対象者

次の各条件を全て満たす者としてします。

- (1) 令和6年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者、合格した場合に入学を確約できる者
- (2) 高等学校において数学I、数学II、数学A、数学Bの内容に対応する科目を既修しており、かつ数学III及び数学Cの内容に対応する科目を既修又は出願時に履修している者。
- (3) 高等学校において物理の内容に対応する科目(ただし、「物理基礎」は含みません)を既修又は出願時に履修している者
- (4) 調査書の学習成績概評がB以上で、理数系(物理、数学)及び英語の成績が優れている者
- (5) 物理の実験や課題研究等に興味を持ち、工学部環境社会デザイン学科の学生として適性を有する者

<出願上の留意事項>

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
- (2) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

選抜方法

(1)選抜方法

学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、活動実績、調査書、小論文、面接及び大学入学共通テストによります。(別表参照)

外国語(英語)の評価は、大学入学共通テストの成績もしくは、実用英語技能検定(英検)、TOEIC(IPを含む)、TOEFL(iBT)の結果を大学入学共通テストの成績に換算し、最も高い得点の成績を合否判定に用います。

なお、実用英語技能検定(英検)、TOEIC(IPを含む)、TOEFL(iBT)の成績は、出願期間開始日の2年前から出願期間最終日まで実施された試験であり、かつ出願期間内に成績証明書を提出した場合に、証明書記載の成績を有効とします。

(2)小論文の採点・評価基準

- ・理解力、論理的な思考力や表現力などを判断するため、課題文(英文や実験データを含むことがあります。)を与えて、それに関する設問に論文形式で記述させます。
- ・理解力、論理的な思考力、表現力などを評価します。

(3)面接の形式、採点・評価基準

- ・面接は日本語で行います。
- ・形式は個人面接を基本としますが、志願者数により集団面接(4～6人)とする場合があります。
- ・複数の面接員で実施します。
- ・グループディスカッションは行いません。
- ・学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、活動実績、及び調査書は、面接の評価対象とします。内容について、面接で質問することがあります。
- ・面接の採点・評価基準:表現力、コミュニケーション能力、主体性、多様性を重視します。

(4)合否判定基準

大学入学共通テスト、小論文及び面接の総合点順により合否を決定します。
総合点が同点の場合は、同順位とします。

別表

教科科目名等				配点
大学入学共通テスト	数学	『数学I、数学A』、『数学II、数学B、数学C』	左の2科目必須	200
	理科	『物理』	必須 (※)第1解答科目で解答する必要があります。	200 (注1)
	外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』	必須	200 (注2)
小論文				400
面接				400
				合計 1400

(注1)理科は100点×2＝200点に換算します。

(注2)外国語(英語)は、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4＝200点」に換算します。

リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2＝200点」に換算します。

実用英語技能検定、TOEIC、TOEFLの成績は、英語200点満点以下のように換算して評価します。

① 実用英語技能検定: 準2級120点、準2級プラス140点、2級160点、準1級・1級200点

② TOEIC: TOEIC 得点×200/780、ただし200点を上限とします。

③ TOEFL(iBT)の得点は、ETS から公表されているCEFR対応表により換算します。

なお、TOEIC IPの得点は、志願者の在籍する高等学校が実施団体の場合のみ認められます。

選抜日程		
令和7年11月15日(土) 小論文 9:30～11:00(90分) 面接 12:00～ 実施場所:埼玉大学工学部		
大学入学共通テスト成績請求チケットの提出		
大学入学共通テスト出願サイトから成績請求チケットの発行が可能となりましたら、①「国公立推薦型選抜用」の成績請求チケットを発行し、②本学のインターネット出願サイトで成績請求番号を登録し、③印刷した「成績請求チケット貼付用紙」に成績請求チケットを貼って、令和7年12月19日(金)までに郵送により提出してください。【提出先】〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課		
出願手続		
出願方法	49頁「12 インターネット出願について」により、手続を行ってください。インターネットによる出願登録後、入学検定料を支払い、提出書類を郵送することにより、出願手続が完了します。	
出願期間	令和7年11月4日(火)～11月7日(金) 期間内郵送必着とします(※大学持参不可)。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月28日(火)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月10日(月)正午までに到着した提出書類のうち、11月6日(木)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。)	
提出書類等	入学志願票	1 志願者登録 インターネット出願サイト(https://e-apply.jp/ds/saitama-n/)又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真をアップロードしてください。 2 入学検定料の支払い 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料は、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、ペイジー対応銀行ATM、のいずれかで支払うことができます。 入学検定料 17,000円 ※検定料の免除については、47頁を参照してください。 3 出願書類の印刷と郵送 入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	推薦書	出身学校長が作成し厳封したもの。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	志望の理由	本人が記載してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	自己アピール	本人が記載してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	活動実績 (添付資料含む)	本人が記載してください。【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	調査書	出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のもののまで記載されたもの。
	外部英語能力試験の成績証明書 (希望者のみ)	・実用英語技能検定:英検CSEスコア証明書[原本]、合格証明書[原本]、デジタル証明書のいずれか。 ※デジタル証明書を提出する場合は、デジタル証明書プレビュー画面をプリントした用紙又は同一試験のスコア証明書のコピーを他の提出書類とともに郵送したうえで、工学部係メールアドレス(eng-aa@gr.saitama-u.ac.jp)宛にデジタル証明書ファイルを送付してください。 ・TOEIC L&R:公式認定証(Official Score Certificate)[原本] ※TOEIC IP オンラインスコアは無効とします。 ※TOEIC IP は成績証明書に高等学校の公印を受けたものに限り受け付けます。 ・TOEFL iBT:Test Taker Score Report[原本] ※ETSから本学へ直接送付される「Official Score Reports」は利用できません。
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学工学部係	

出願にあたっての注意事項

- 1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。)
- 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - (1) 検定料の返還請求ができるもの
 - ア 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
 - イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - ウ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
 - (2) 返還請求の方法
本学ホームページの入試情報ページ(「入試情報」→「入試に関するその他の情報はこちら」→「検定料等の返還について」)
より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ、必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。
【返還請求書】<https://www.saitama-u.ac.jp/media/henkanseikyu.pdf>
送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)
- 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、52頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、出願した学部の学部係まで連絡してください。
- 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

5 最終合格者の発表及び入学手続等

最終合格者の発表

発表は、最終合格者への「合格通知書及び入学手続書類」の発送により行います。掲示による発表は行いません。また、不合格者には通知書等の送付は行いません。
補助手段として、パソコン・携帯電話・スマートフォンによりインターネットで合否結果の照会ができます。利用方法の詳細は、55頁をご覧ください。

選抜区分	学部	合格通知書及び入学手続書類の発送日	インターネットによる合否照会期間
総合型選抜	理学部	令和7年12月2日(火)	令和7年12月2日(火)14:00 ～12月5日(金)17:00
	工学部		
学校推薦型選抜	教養学部 I 型		
	教育学部 (大学入学共通テストを課さない募集単位)		
総合型選抜	経済学部(昼間コース)	令和8年2月9日(月)	令和8年2月9日(月)14:00 ～2月12日(木)17:00
学校推薦型選抜	教養学部 II 型		
	教育学部 (大学入学共通テストを課す募集単位)		
	理学部		
	工学部		

・学校推薦型選抜については、学校長にも郵送にて合否を通知します。
・電話による合否結果の問い合わせには一切応じません。
・教育学部の学校推薦型選抜について、地域枠と全国枠を併願した者が合格した枠(地域枠又は全国枠)については、送付する合格通知書に記載されます。(インターネットによる合否照会では「合格」又は「不合格」の結果のみ表示されます。)

入学手続

本学が指定した提出書類等を指定の期間内に郵送又は持参し、入学手続を行ってください。郵送による入学手続期限等を含め詳細については合格者にお知らせします。

入学手続日(持参)	総合型選抜	理学部	令和7年12月11日(木)
		工学部	
	学校推薦型選抜	教養学部 I 型	
		教育学部 (大学入学共通テストを課さない募集単位)	
	総合型選抜	経済学部(昼間コース)	令和8年2月16日(月)
	学校推薦型選抜	教養学部 II 型	
		教育学部 (大学入学共通テストを課す募集単位)	
		理学部	
		工学部	

提出書類
① 受験票
② その他、本学の指定する書類等(合格者に送付します。)

納付金
① 入学金 282,000円〔予定額〕
② 授業料(前期分)267,900円(年額 ~~535,800円~~)〔予定額〕
〔10月10日記載〕(前期分)321,480円(年額 642,960円)〔予定額〕

・入学金及び授業料は、改定される場合があります。
・授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。
・入学時には上記入学金等のほか、学生教育研究災害傷害保険料など、若干の諸経費が必要となります。
・在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
・経済的理由等で入学金・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考のうえ、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者にお知らせします。
・入学手続完了後、令和8年3月31日(火)17:00までに入学辞退の意思表示をした者については、入学志願者が納付した授業料及び学生教育研究災害傷害保険料などの返還に応じますが、納付した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。

留意事項

総合型選抜	(1)総合型選抜では、合格した場合に入学を確約できることを出願条件としていることから、合格者は期日までに、必ず入学手続を行ってください。 (2)総合型選抜の合格者は、本学及び他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。ただし、特別な事情があり、令和8年2月18日(水)までに「入学辞退届」を本学に提出した場合はこの限りではありません。
学校推薦型選抜	(1)学校推薦型選抜では、合格した場合に入学を確約できることを出願条件としていることから、合格者は期日までに、必ず入学手続を行ってください。 (2)学校推薦型選抜の合格者は、本学及び他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。ただし、特別な事情があり、令和8年2月18日(水)までに、推薦を行った学校長からの「学校推薦型選抜入学辞退願」(様式任意)を本学に提出し、入学辞退の許可が得られた場合はこの限りではありません。

入学前教育

特別選抜を実施した一部の募集単位において、入学前教育を実施する場合があります。内容については、該当する募集単位の合格者または入学手続者にお知らせします。

6 障がい等のある入学志願者の事前相談について

本学に出願を希望する者で、身体等に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により本学へ事前相談の申請を行ってください。

なお、不明な点又は事前相談の締切日までに申請することができない場合には事前相談担当までご相談ください。

事前相談担当：埼玉大学学務部入試課 TEL 048-858-3036(平日 9:00～17:00)
E-mail senbatsu@gr.saitama-u.ac.jp

(1) 申請方法

申請する場合は、簡易書留郵便とし、「受験上及び修学上の配慮申請書類在中」と封筒に朱書の上、次の①、②を提出してください。

提出された書類に基づき、希望する配慮について審査を行います。なお、審査の過程において、本人、保護者又は出身学校関係者へ照会する場合があります。

①埼玉大学入学者選抜試験受験上及び修学上の配慮申請書(本学所定の用紙)

申請用紙は埼玉大学ホームページからダウンロードして入手してください。

https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/consultation/

②医師の診断書(障がいの程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの)

発行後6ヶ月以内の原本を提出してください。ただし、大学入学共通テストにおいて受験上の配慮を申請している場合は、大学入試センターに提出した医師の診断書の写しを提出しても構いません。

【申請書提出先】〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学学務部入試課

(2) 申請書提出期間

①総合型選抜(理学部・工学部)

令和7年8月1日(金)～8月8日(金)

②総合型選抜(経済学部(昼間コース))・学校推薦型選抜

令和7年10月1日(水)～10月14日(火)

障がいの程度が重度な場合には審査に時間を要することがありますので、できるだけ早めに申請してください。

(3) 申請受付後の回答日

配慮事項を決定の上、原則として出願受付期間開始日の前日までに回答文書を郵送します。

※申請書提出期間終了後に申請した場合は、回答文書の送付が出願受付期間開始後となる場合があります。その場合には、回答文書が届く前であっても、出願受付期間内に出願する必要があります。(出願受付期間を延長することはできません。)

(4) 出願時の手続

①この申請で受験許可を得た者は、出願書類を郵送後、その旨を上記の事前相談担当に連絡してください。

②この申請で受験許可を得た者が、出願を辞退、若しくは出願したが受験しない場合は、速やかに上記の事前相談担当に連絡してください。

7 検定料の免除

学資負担者が、令和7年4月1日から出願時まで災害救助法が適用された地域(災害救助法適用地域)で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。

検定料の免除を希望する志願者は、検定料を払わず、本学ホームページから検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書(写しでも可。)を添付して、原則として、下記の期日までに志望する学部・学部の学係へ提出してください。

【検定料免除願】 https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/exemption/

【提出期限】 総合型選抜(理学部・工学部)志願者:令和7年8月22日(金)

総合型選抜(経済学部)・学校推薦型選抜志願者:令和7年10月22日(水)

本学で検定料免除願を受理し、検定料の免除を認めた場合、出願開始日の前日までにインターネット出願時に必要なパスワードを郵送にてお知らせします。

なお、申請期限後に申請を希望する志願者は、志望する学部・学部の学係へ相談してください。

また、出願時に罹災証明書を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書を提出した場合に検定料を還付します。

8 入試情報の開示

埼玉大学では、令和8年度入試情報について次のとおり開示し、提供します。

○ 開示対象者

総合型選抜・学校推薦型選抜における入学試験を受験し不合格となった者を対象とします。

ただし、本学の特別選抜を受験し不合格となった後、本学の一般選抜を受験し合格した者は、開示対象者ではありません。

○ 請求に基づき開示する情報

入試成績

- ①大学入学共通テスト成績(総合点、科目別得点)※大学入学共通テストを課す募集単位のみ
- ②個別学力検査等の成績(総合点、科目別得点)
- ③順位
- ④合格者の最低点・平均点(募集単位毎に合格者が6名以上の場合、総合点を開示する)

開示申請方法

申請者 受験者本人に限ります。

申請方法 「埼玉大学入試情報開示申請書」(本学ホームページからダウンロードすること)及び返信用封筒(長形3号封筒[12×23.5cm])に 460 円分の切手を貼付し、簡易書留と朱書すること)を郵送してください。

※本人確認のため、本学の受験票(正本に限る。コピー不可)を同封してください。

申請期間 令和8年4月20日(月)～5月29日(金)【期間内必着のこと】

申請先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255

埼玉大学学務部入試課(「入試情報開示申請」と朱書すること)

提供方法 6月末までに郵送します。

9 個人情報の保護について

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人埼玉大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

(1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他の個人情報、入学者選抜に用いた出願書類及び試験成

績は、以下の目的のために利用します。

- ①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、合格者発表、入学手続業務、学生宿舎の入居選考
 - ②入学者のみ、教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等)、授業料徴収に関する業務
 - ③入学者選抜及び広報に関する調査・分析・検討
- (2) 上記(1)の各種業務での利用にあたっては、本学より一部の業務の委託を受けた業者(以下「受託業者」という。)において行うことがあります。ついては、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
- (3) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続等に関する個人情報のうち氏名、性別、生年月日、高等学校等コード、大学入学共通テスト及び本学選抜の受験番号に限って、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

10 入試情報ホームページ

<https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/>



入試情報ホームページコード

11 学生宿舎について

埼玉大学では、修学に適する良好な環境を提供し、自主的な生活を通じて、自立性を培うとともに、規律ある社会性を育む機会を与えることを目的として学生宿舎を設置しています。

学生宿舎の居室は、約 4.5 畳のワンルームタイプ(照明設備、空調設備、IH調理機、机、椅子およびベッドは常設)で、居室数は、男子用 144 室、女子用 128 室の合計 272 室ですが、入居対象を学部の1年生と2年生に限っているため、例年約半数の居室数分を募集しています。

入居を希望される方は、令和7年11月頃に学生宿舎 Web ページで公表される『令和8年度 埼玉大学学生宿舎入居者募集要項』を確認のうえ、『インターネットの申請フォーム』により申請してください。

インターネットの申請フォームによる申請が難しい場合には埼玉大学学生支援課へお問い合わせください。(TEL 048-858-3944)

令和8年度学生宿舎入居申請出願期間

令和8年2月中旬～下旬(予定) ※1週間程度

一般選抜の受験生を含めて選考を行っているため、出願期間を上記のとおり設定しています。

詳細は令和7年11月頃に公表される『令和8年度 埼玉大学学生宿舎入居者募集要項』で確認してください。

★埼玉大学学生宿舎 Web ページアドレス(URL)

<https://park.saitama-u.ac.jp/~student.support/seikatsu/syukusya/>



学生宿舎ページコード

※ 入居希望者が募集人員より多くなることが予想されます。入居が許可されない場合に備えて、他の住居(民間アパート等)についても考慮しておいてください。

12 インターネット出願について

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、推薦書、写真データなど



STEP

2



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出願サイト

<https://e-apply.jp/ds/saitama-n/>

または、

大学ホームページ

<https://www.saitama-u.ac.jp/>

からアクセス

※出願期間の1週間前から入力・登録可能



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



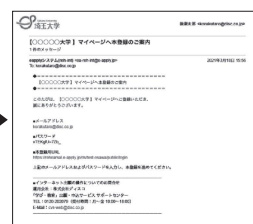
①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



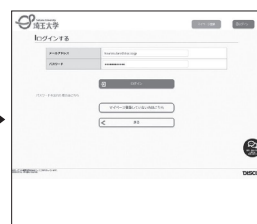
②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた「初期パスワード」にて
ログイン を
クリックしてください。



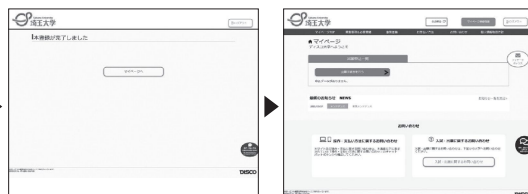
⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
「**マイページへ**」を
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、「**出願手続きを行う**」ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので「**ログアウト**」ボタンをクリックしてください。

STEP

4



出願内容の登録

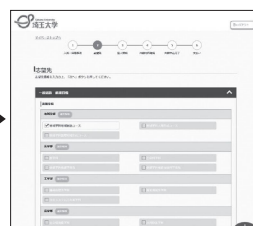
画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
「**出願手続きを行う**」ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択
※続いて、入学検定料免除申請の有無、
経歴の入力があります。



④顔写真のアップロード
「**写真選択へ**」ボタンをクリックし
写真を選択します。



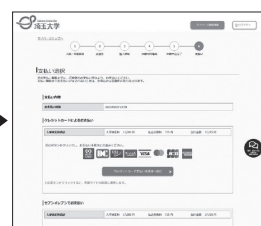
⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



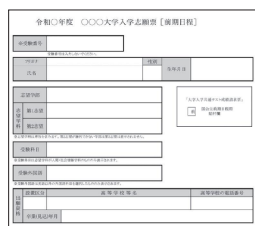
⑥出願内容の確認



⑦申込登録完了
「**引き続き支払う**」ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※[STEP5：入学検定料の支払い]を終えた後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願
内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

5



入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ移行しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されている必要があります

インターネットで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能

セブン-イレブン

Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

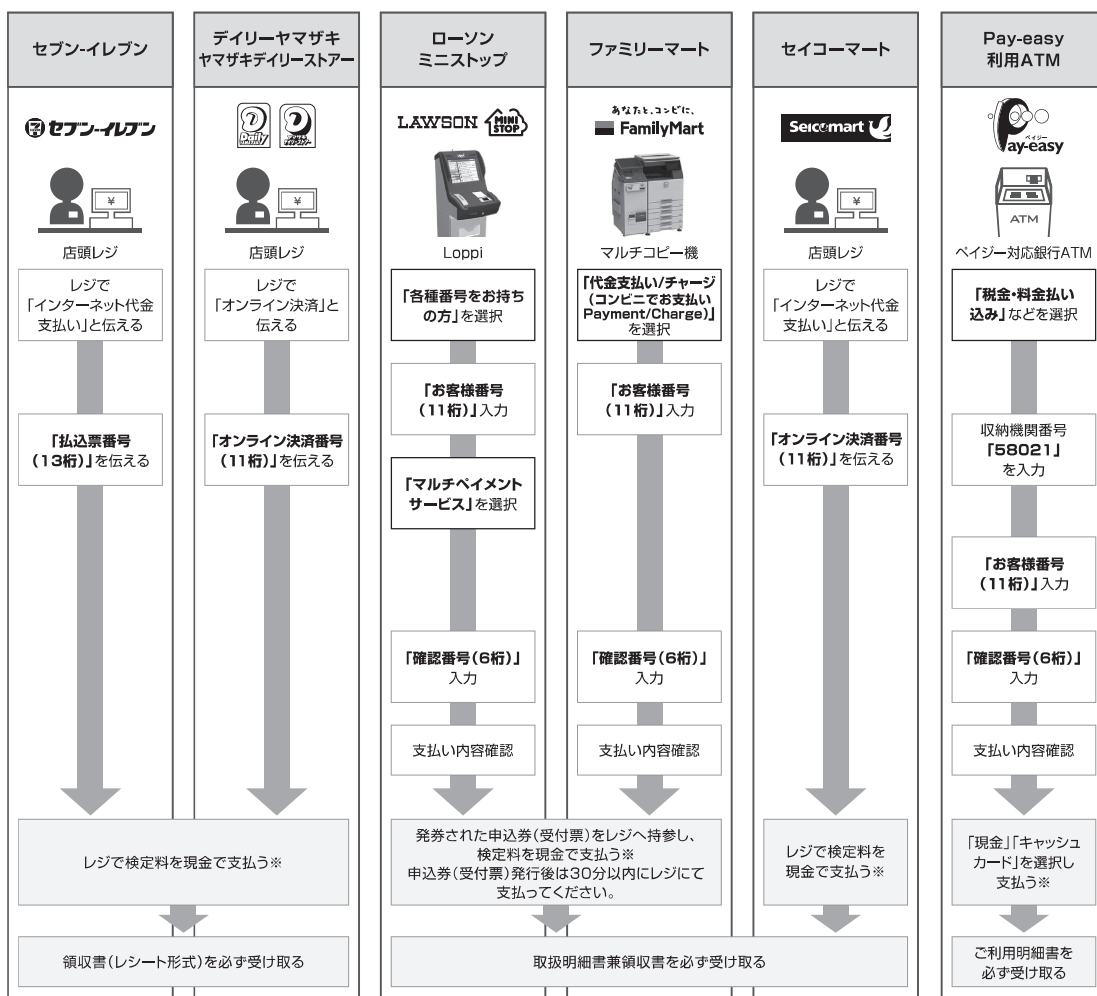
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

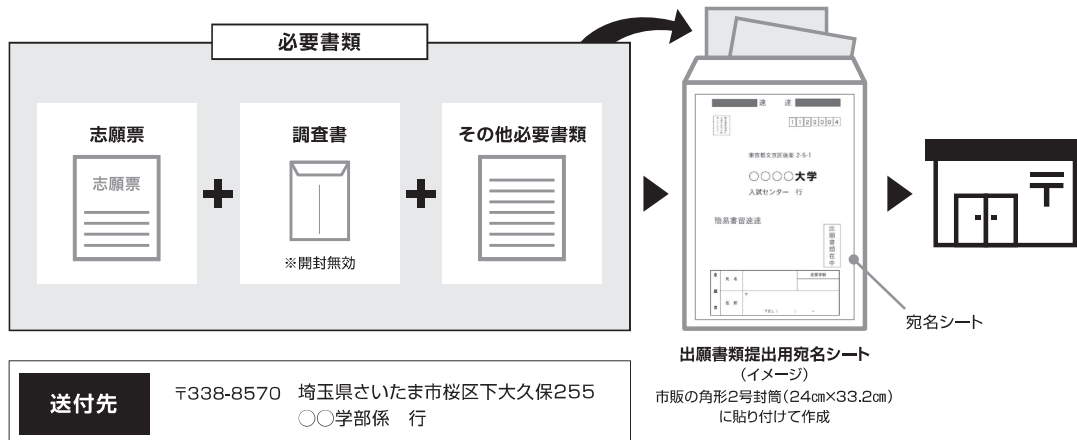
STEP

6

必要書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と併せて郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。※出願期間内必着です。



■ 出願書類

詳細は本学HPで公表している学生募集要項で確認してください。

※出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

「出願書類」の印刷方法



お支払いが正常に完了すると「出願書類(印刷)」のボタンが表示されるので、クリックして志願票・宛名シート等を出力してください。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録だけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願期間最終日の出願登録、入学検定料の支払は、17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)までとなりますが、必要書類の郵送は各募集要項で定められた期間内に必ず到着するよう、ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

受験票の印刷

*出願締切後にご登録のメールにご連絡します。

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間受付終了後から試験前日までに一斉に受験票を配信します。インターネット出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】受験票は必ずA4用紙に片面印刷してください。



※インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合について

- (1)【入学検定料の支払い前の場合】再度STEP4【出願内容の登録】からお申し込み直してください。新たに【お支払いに必要な番号】が通知されるので、新しい番号で入学検定料をお支払いください。出願する書類は、必ず再度印刷した書類を提出してください。(※前回の出願内容は、お支払い期限内に入学検定料の納入がなければ自動的に削除されます。)
- (2)【入学検定料を支払った後の場合(入学検定料の免除が認められた者で入力完了した者も含む)】やり直しが出来ません。その場合は、印刷した出願書類の入力誤り部分を二重線(赤)で消して、訂正のうえで郵送してください。ただし、「希望する学部・学科等」「体育実技受験希望項目」の訂正は一切応じません。

13 受験票のダウンロード

■ 受験票配信予定日

- ・ 総合型選抜(理学部・工学部) 令和7年9月17日(水)
- ・ 総合型選抜(経済学部(昼間コース))、学校推薦型選抜 令和7年11月13日(木)

受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信します。通知メール受信後、受験票をダウンロードして印刷してください。

なお、メールが届かない場合であっても、出願が受理されていれば、同日以降に受験票のダウンロードができます。下記【STEP2】【STEP3】を参照して受験票をダウンロードし、印刷してください。

上記の日以降に受験票のダウンロードができない場合、又はダウンロードした受験票の氏名等に間違いがある場合は、すみやかに学務部入試課へ連絡してください。(出願書類の郵送により出願が完了していない場合は受験票がダウンロードできず、受験もできません。)

【連絡先】 埼玉大学学務部入試課 TEL 048-858-3036

【STEP1】 志願者より郵送される出願書類を本学にて確認後、インターネット出願時に登録したメールアドレスへ以下のとおり受験票ダウンロード通知メールを送信します。

【埼玉大学】出願サービス 受験票印刷可能メール (例)

◆=====

【e-apply インターネット申込受付サイト】

埼玉大学 出願サービス 受験票印刷可能のご案内

◆=====

このたびは、出願サイトをご利用いただき、誠にありがとうございます。
受験票の印刷が可能となりましたので、お知らせいたします。

■ 受付番号

235617077063

※受験番号ではありません。

■ 以下の URL から登録内容を必ず確認の上、受験票をカラー印刷してください。

<https://rehearsal.e-apply.jp/ds/saitama-n/public/login>

■ 注意

○試験当日は、印刷をした受験票を持参してください。

(※工学部総合型選抜については、システムの都合により、

第1次選考(書類選考)が行われる前に、受験票印刷が可能になります。)

○スマートフォン等の画面表示による受験票の提示は認めません。

○受験票が印刷できない場合は、速やかに募集要項に記載されている問い合わせ先に連絡をしてください。

○本メールは入試が終了するまで大切に保管をしてください。

本メールは、送信専用メールアドレスから配信されています。
返信をいただいてもお答えできませんので、ご了承下さい。

問い合わせについては、募集要項に記載されている問い合わせ先に連絡願います。

当メールに心当たりが無い場合は、誠に恐れ入りますが破棄していただきますよう、
よろしくお願い致します。

【STEP2】 受験票ダウンロード通知メールを受信後、マイページ画面にログインします。

マイページ画面にログインするには、マイページ登録時の【メールアドレス・パスワード】が必要になります。

The screenshot shows the top navigation bar with links: 合格サービス, マイページ登録, and ログイン (highlighted with a red box). Below this is a green header with 募集要項, 事前準備, お支払い方法, お問い合わせ, and 個人情報取扱方針. The main banner features the Saitama University logo and the text 'インターネット出願ページ' and 'Saitama University INTERNET APPLICATION'. Below the banner, there is a login section titled 'ログインする' with fields for 'メールアドレス' and 'パスワード', and a 'ログイン' button.

【STEP3】 ログイン後、受験票(PDF)をダウンロードし、カラー印刷して、試験当日に持参してください。

The screenshot shows a form with three rows: '支払日時:', '受付番号:', and '入試区分:'. Below this, there are two buttons: '出願書類 (印刷)' and '受験票' (highlighted with a red box). A blue arrow points downwards at the bottom of the page.

※「埼玉大学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」は、個別学力検査等受験、入学手続及び入試情報開示請求の際に必要なため、大切に保管しておいてください。

14 合否照会システムの利用方法について

■ インターネットによる合否結果照会

1. URLの入力

URL: <https://www.gouhi.com/saitama-u/>



※バーコードリーダー対応携帯電話をお持ちの方は、右のQRコードを読み取り、表示されたURLをクリックしてインターネットに接続してください。

2. 操作手順

「埼玉大学合格発表サイトです。ここでの発表は速報であり、合格者には大学より入学手続き書類が送付されます。受験番号は間違いの無いようあわせて入力してください。」

Saitama University
埼玉大学

受験番号6桁を入力してください。

よろしいですか？



Saitama University
埼玉大学

あなたは

☐ 選抜 ☒ 学部
000000番

よろしいですか？



Saitama University
埼玉大学

あなたの生年月日を8桁
(西暦年月日)で入力してください。ひと桁の場合、最初に0を入力してください。
(例: 2000年4月1日の場合は20000401)

よろしいですか？

合格

不合格

Saitama University
埼玉大学

あなたの受験結果は下記のとおりです。
☐ 選抜 ☒ 学部 受験番号000000番の方は、おめでとうございます。
合格です。

Saitama University
埼玉大学

あなたの受験結果は下記のとおりです。
☐ 選抜 ☒ 学部 受験番号000000番の方は、残念ながら不合格です。

一般選抜、帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜についての募集要項は、令和7年11月頃に「令和8年度埼玉大学学生募集要項」として公表する予定です。

本募集要項についての問い合わせ先

埼玉大学学務部入試課 TEL 048-858-3036

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255

教養学部志願者 教養学部係 TEL 048-858-3044

経済学部志願者 経済学部係 TEL 048-858-3286

教育学部志願者 教育学部係 TEL 048-858-3144

理学部志願者 理学部係 TEL 048-858-3345

工学部志願者 工学部係 TEL 048-858-3429

※ 問い合わせは、平日の9:00～17:00の間に、志願者本人が行ってください。

インターネット出願についての問い合わせ先

■「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター

(運用会社:株式会社キャリアタス) TEL:0120-202079
E-Mail:cvs-web@career-tasu.co.jp